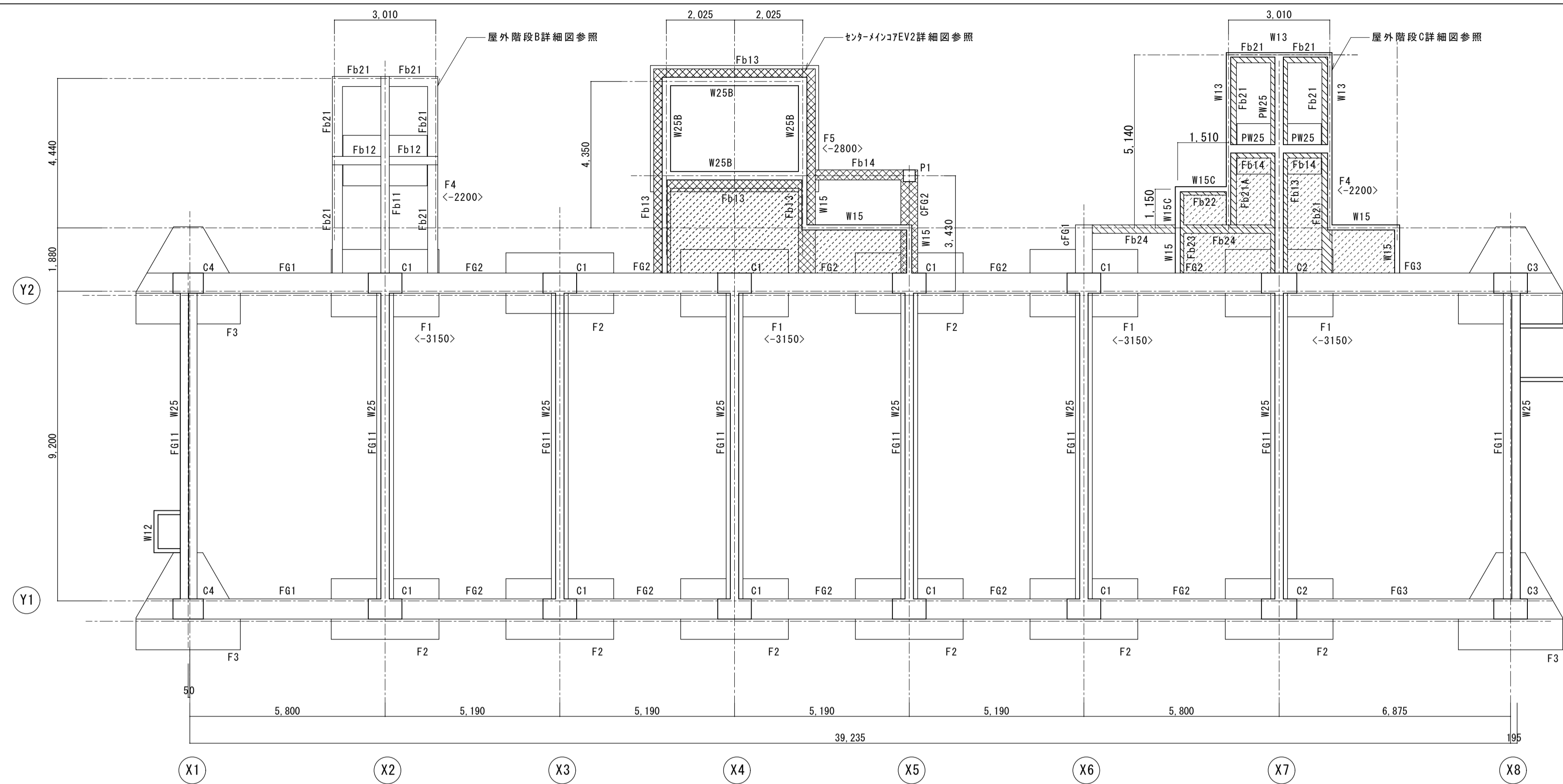
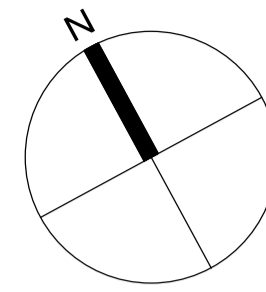


令和3年5月27日 公告  
「上新庄第1住宅1号館建設工事」

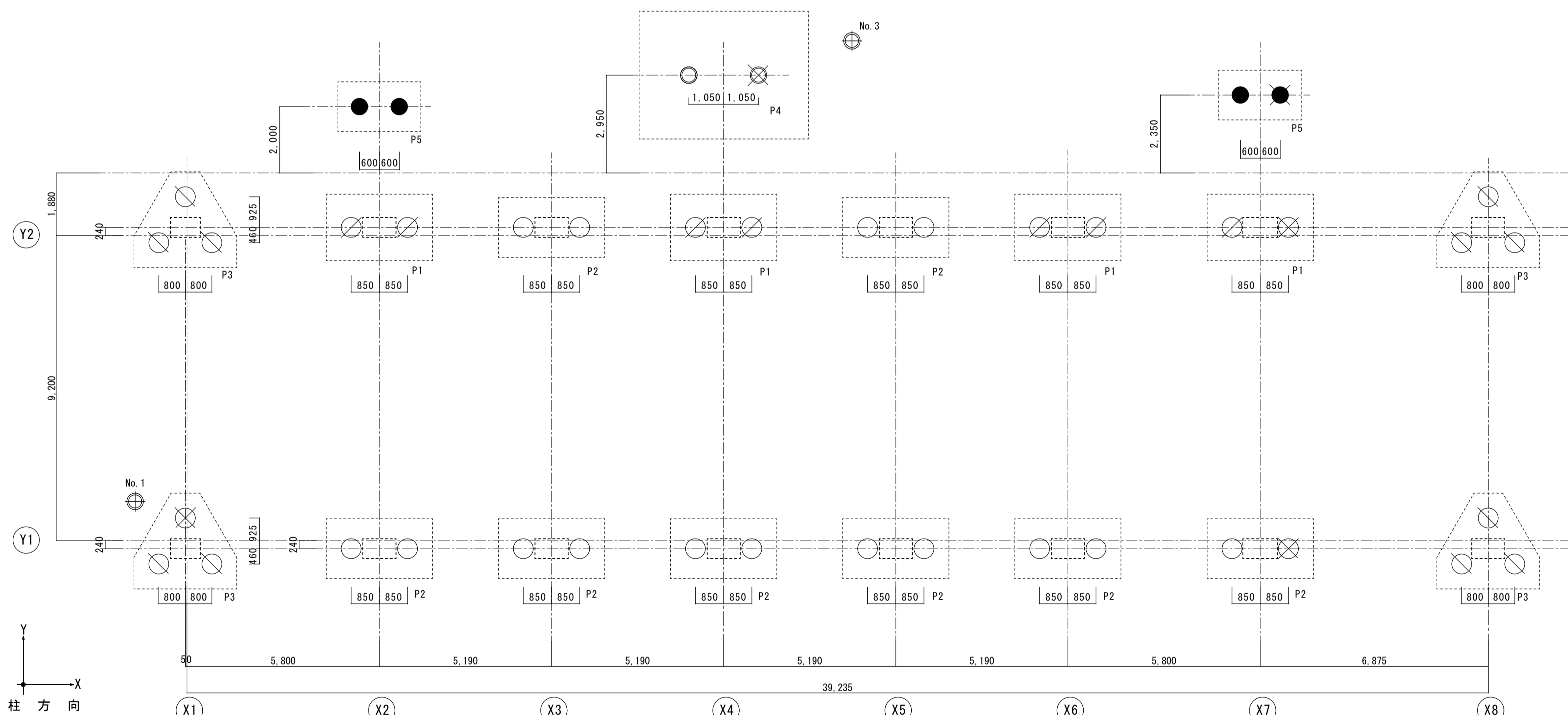
○設計図書の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号204 伏図(1) 記載漏れ箇所の追記	図面のとおり	図面のとおり
図面番号205 伏図(2) 誤記修正	EV壁 W30B	EV壁 W25B
図面番号210 基礎リスト 誤記修正	F3 D16@200	F3 D19@200
図面番号218 センターメインコアEV2詳細図 誤記修正	b25	Fb25、Fb25a 梁リストb25を削除



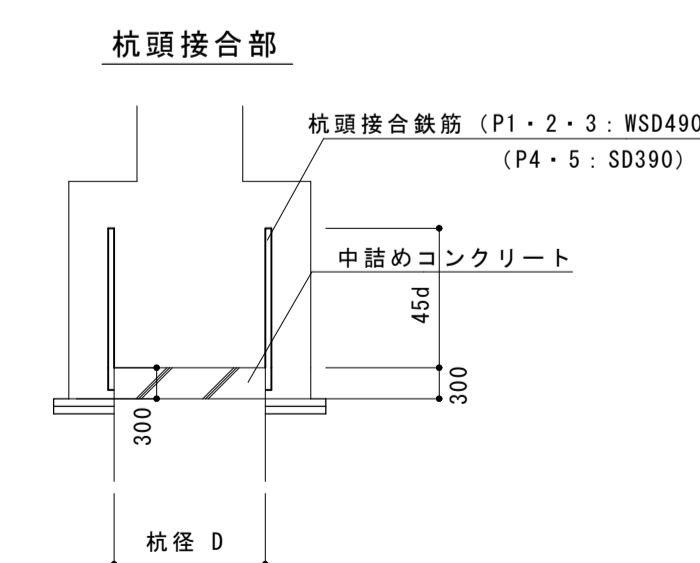
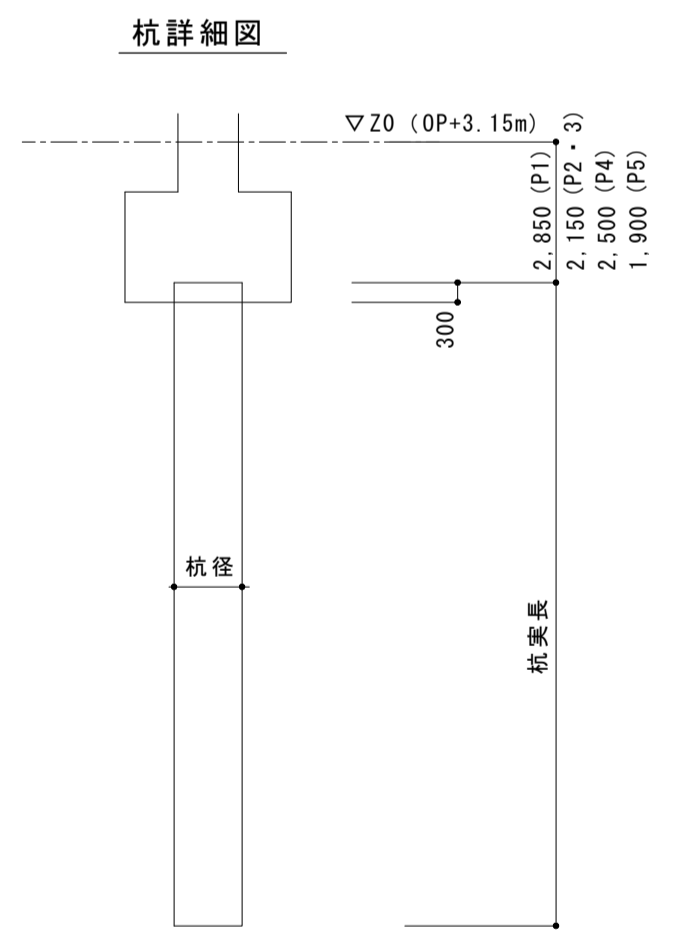
註) 特記なき限り下記による  
 ・基礎梁天端はZ0±0とし、梁間方向天端はZ0-400とする。  
 ・は、基礎梁天端Z0-550の範囲を示す。  
 ・は、基礎梁天端Z0-450の範囲を示す。  
 ・その他は軸組図及び詳細図参照。  
 ・基礎底はZ0-2450とする。  
 ・< >は、Z0からの基礎下端を示す。  
 ・住戸、エントランス下部及びはスラブピット部分を示し、土天端は原則Z1-1000とし、詳細は意匠図参照。  
 ・スラブ下ピット部分壁はW15とし、その下端は、Z1-1200とする。  
 ・PSの壁の下端はZ1-1200とする。

基礎伏図 1/100



註) 特記なき限り下記による  
 ・はボーリング位置を示す。  
 ・は試験杭を示す。  
 ・本杭施工に先立って試験杭の施工を行い、支持層天端レベルを確認し監督官の承認を得る。

杭伏図 1/100

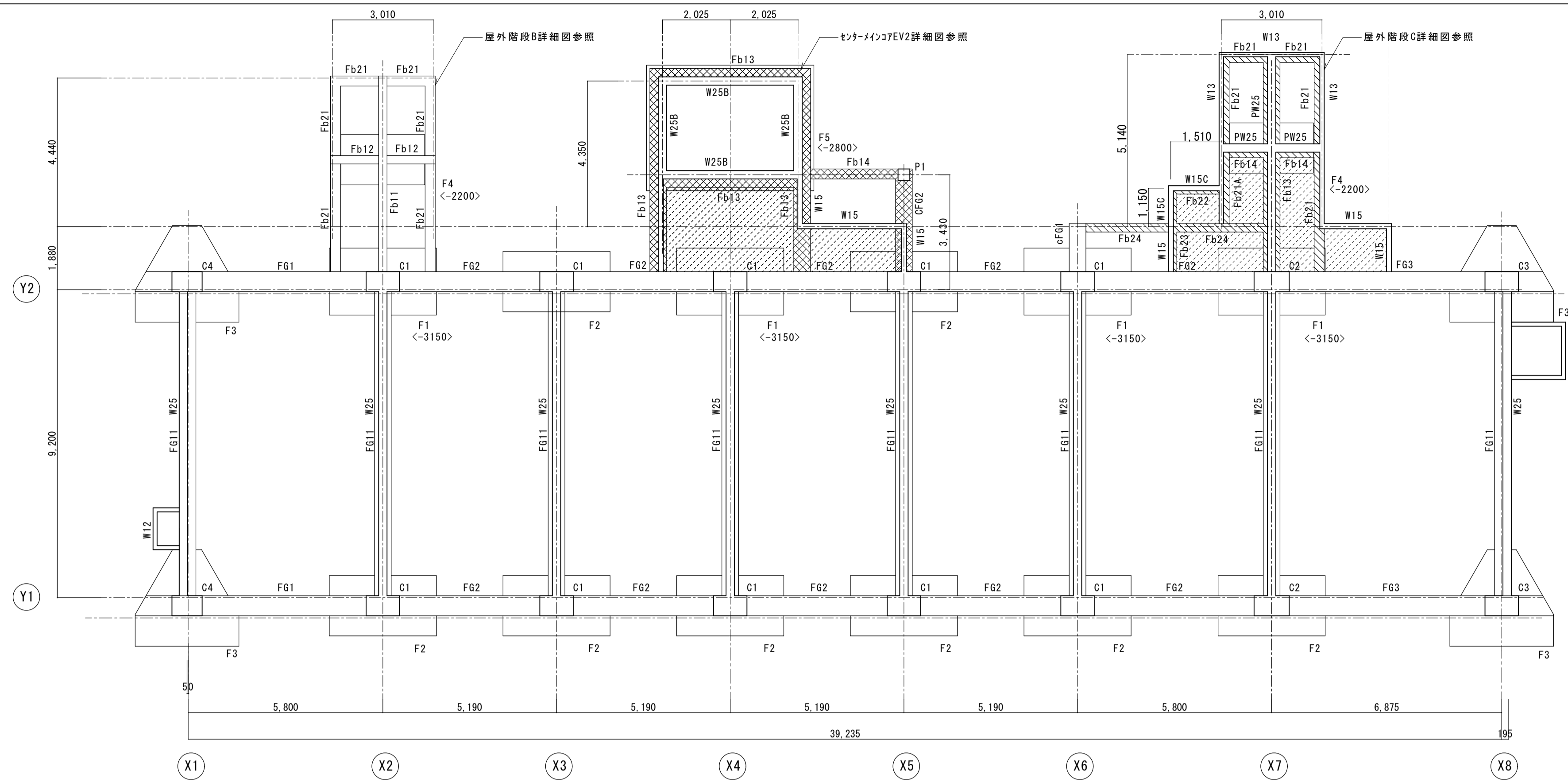
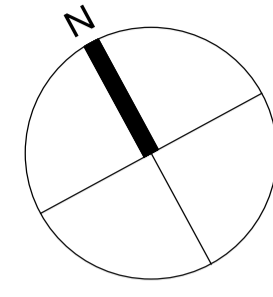


杭リスト

杭符号	杭種類	杭天端 (m)	杭先端 (m)	杭全長 (m)	上杭		中1杭		中2杭		中3杭		中4杭		下杭		拡大比	長期支持力 (kN/本)	本数	定着筋	備考
					杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)					
P1	SC600φ	Z0-2.85	24.85	22.00	SC600φ	4.0	PHC600φ	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ650-500-600	6.0	ω=1.00	2400	8	12-D41	
P2	SKK490 t=16.0 105N	Z0-2.15	24.15	22.00	SKK490 t=16.0 105N	4.0	B種 105N	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ600-450-600	6.0	ω=1.00	2000	16	12-D41	
P3	SC600φ	Z0-2.15	24.15	22.00	SC600φ	4.0	C種 123N	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ600-450-600	6.0	ω=1.00	1700	12	12-D41	強化仕様
P4	SKK490 t=16.0 105N	Z0-2.50	34.50	32.00	SKK490 t=16.0 105N	4.0	A種 123N	6.0	PHC400φ	6.0					JP-NPHφ500-400	6.0	ω=1.00	1900	2	8-D29	
P5	SC500φ	Z0-1.90	34.90	33.00	SC500φ	4.0	A種 123N	6.0	PHC400φ	6.0					JP-NPHφ500-400	5.0	ω=1.00	1900	4	8-D29	
合計																			42	定着筋: D41 (WSD490) D29 (SD390)	

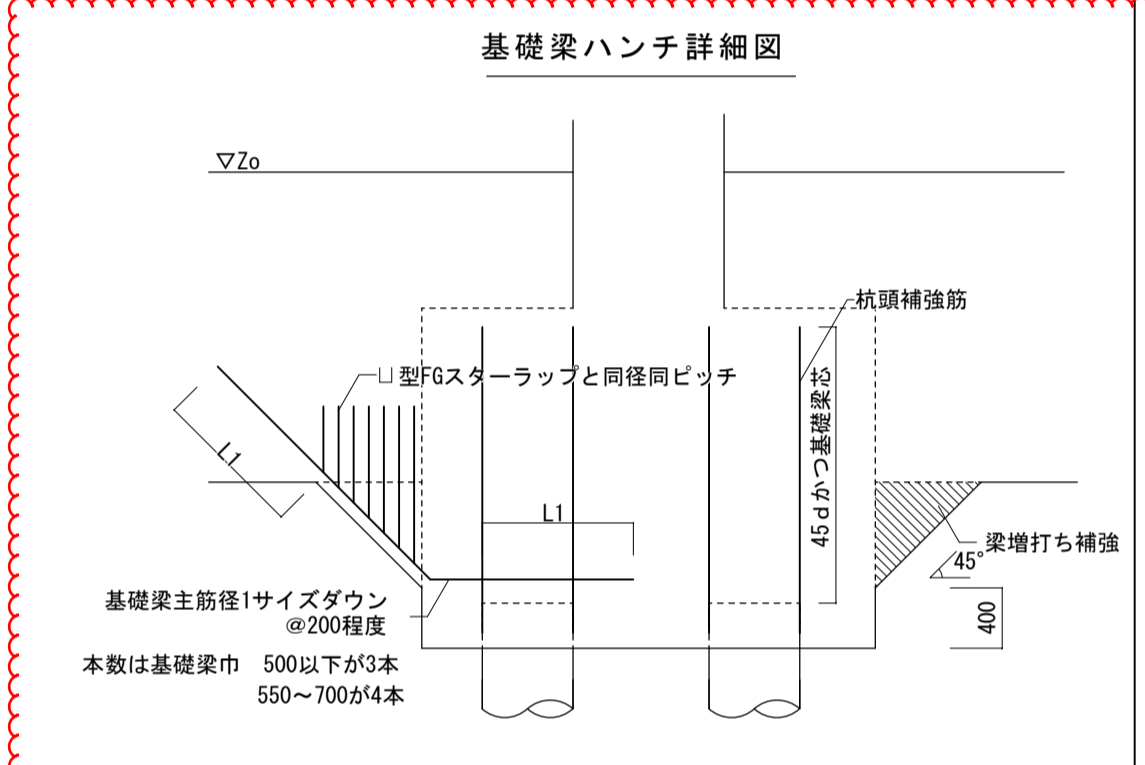
1. 杭種 SC杭、PHC杭、JP-NPH杭  
 2. 工法 Hyper-MEGA工法 (先係数α=330 大臣認定工法)  
 3. 使用材料 SC杭: SKK490 105N  
 PHC杭: A種 123N, B種 105N, C種 105N 123N  
 JP-NPH杭: A種 123N, B種 105N, C種 105N 123N  
 定着筋: WSD490、SD390 杭に溶接  
 中筋コンクリート: Fe=27

名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	伏図(1)	製図	令和2年 月
縮尺	1/100	図面番号	No. 204 (000枚中9枚)
大阪府都市整備局		株式会社上坂設計	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			

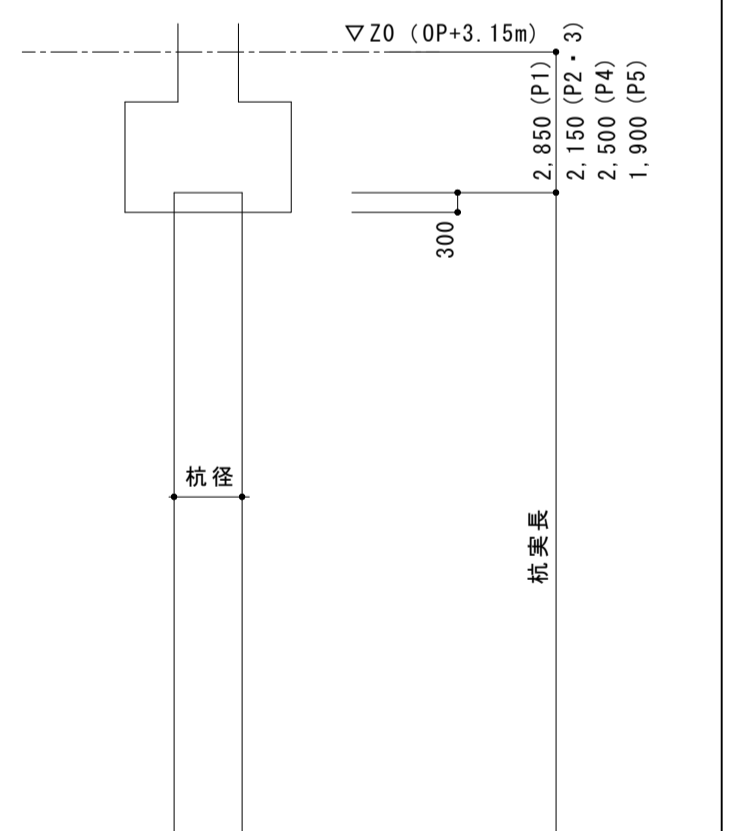


注) 特記なき限り下記による  
 ・基礎梁天端はZ0±0とし、梁間方向天端はZ0-400とする。  
 ・は、基礎梁天端Z0-550の範囲を示す。  
 ・は、基礎梁天端Z0-450の範囲を示す。  
 ・その他は軸組図及び詳細図参照。  
 ・基礎底はZ0-2450とする。  
 ・< >は、Z0からの基礎下端を示す。  
 ・住戸、エントランス下部及びはスラブピット部分を示し、土天端は原則Z1-1000とし、詳細は意匠図参照。  
 ・スラブ下ピット部分壁はW15とし、その下端は、Z1-1200とする。  
 ・PSの壁の下端はZ1-1200とする。

基礎伏図 1/100

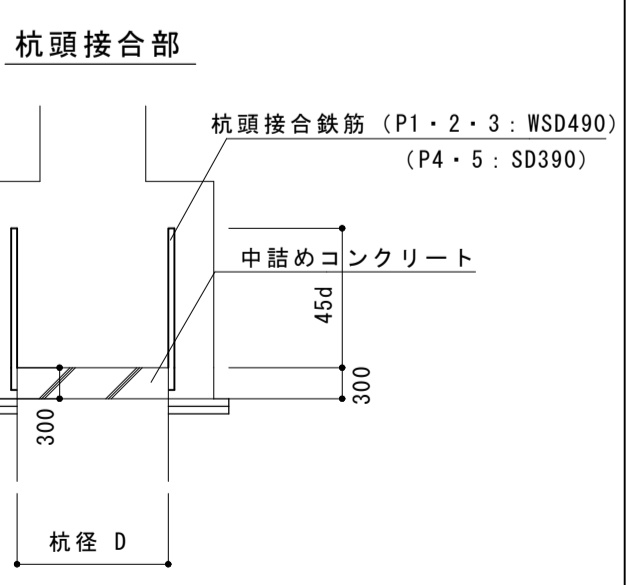


杭詳細図



注) 特記なき限り下記による  
 ・はボーリング位置を示す。  
 ・は試験杭を示す。  
 ・本杭施工に先立って試験杭の施工を行い、支持層天端レベルを確認し監督官の承認を得る。

杭伏図 1/100

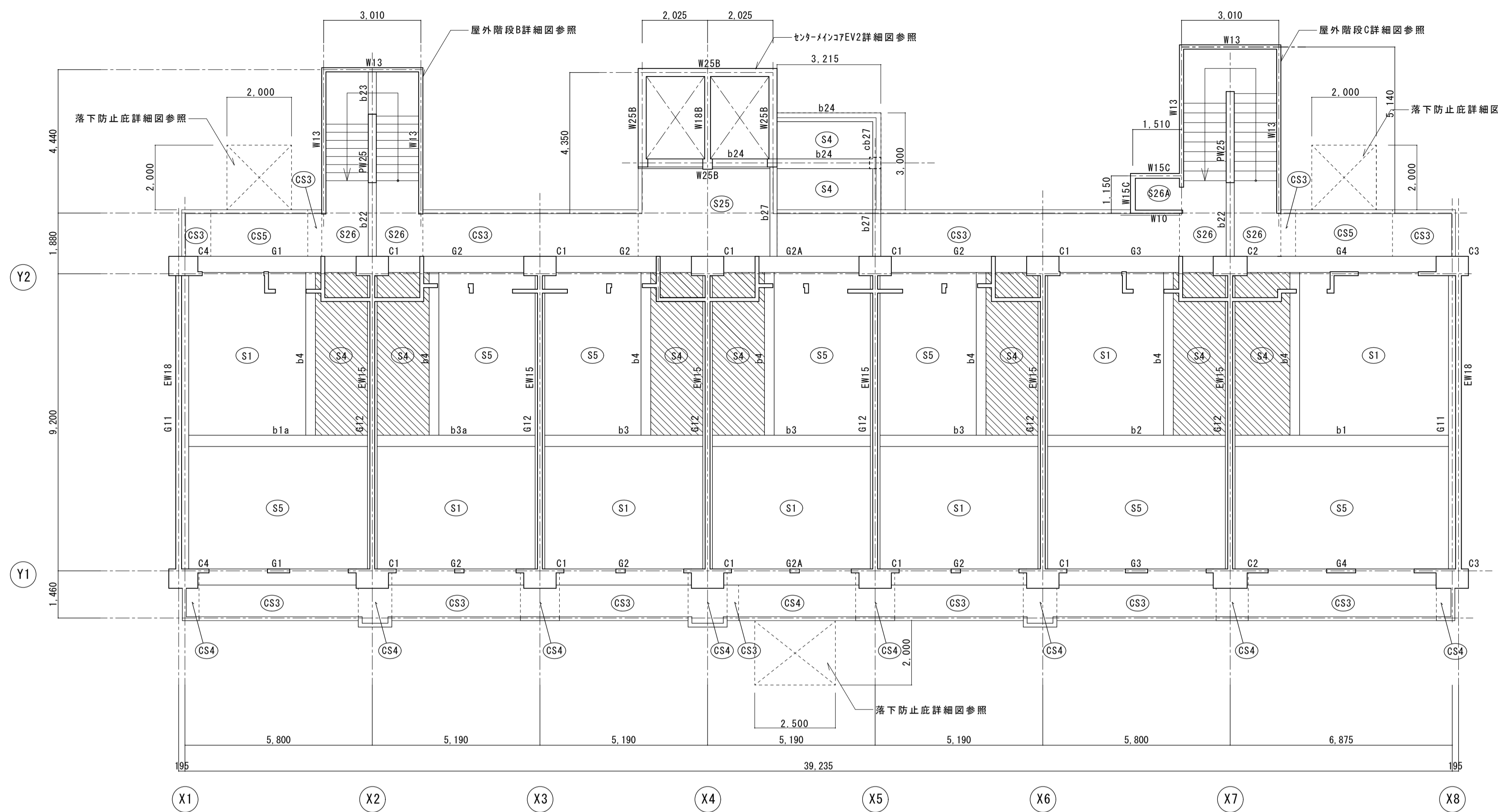
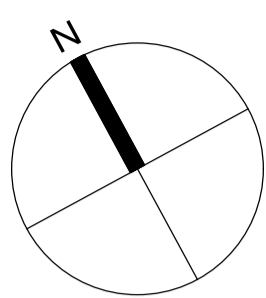


杭リスト

杭符号	杭種類	杭先端 (m)	杭先端 (m)	杭全長 (m)	上杭		中1杭		中2杭		中3杭		中4杭		下杭	拡大比	長期支持力 (kN/本)	本数	定着筋 (L=定着深)	備考	
					杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)							杭種
P1	○	Z0-2.85	24.85	22.00	SC600φ	4.0	PHC600φ	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ650-500-600	6.0	ω=1.00	2400	8	12-D41	
					SKK490 t=16.0 105N	B種 105N	B種 105N						B種 105N								
P2	○	Z0-2.15	24.15	22.00	SC600φ	4.0	PHC600φ	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ600-450-600	6.0	ω=1.00	2000	16	12-D41	
					SKK490 t=16.0 105N	C種 123N	C種 123N						C種 123N								
P3	○	Z0-2.15	24.15	22.00	SC600φ	4.0	PHC600φ	6.0	PHC600φ	6.0					JP-NPHφ600-450-600	6.0	ω=1.00	1700	12	12-D41	強化仕様
					SKK490 t=16.0 105N	C種 105N	C種 105N						C種 105N								
P4	○	Z0-2.50	34.50	32.00	SC400φ	4.0	PHC400φ	6.0	PHC400φ	6.0					JP-NPHφ500-400	6.0	ω=1.00	1900	2	8-D29 (L=190)	
					SKK490 t=9.0 105N	A種 123N	A種 123N						A種 123N								
P5	●	Z0-1.90	34.90	33.00	SC500φ	4.0	PHC400φ	6.0	PHC400φ	6.0					JP-NPHφ500-400	6.0	ω=1.00	1900	4	8-D29 (L=190)	
					SKK490 t=9.0 105N	A種 123N	A種 123N						A種 123N								
合計																			42	定着筋 D41 (SKK490: 大臣認定品) D29 (SD390)	

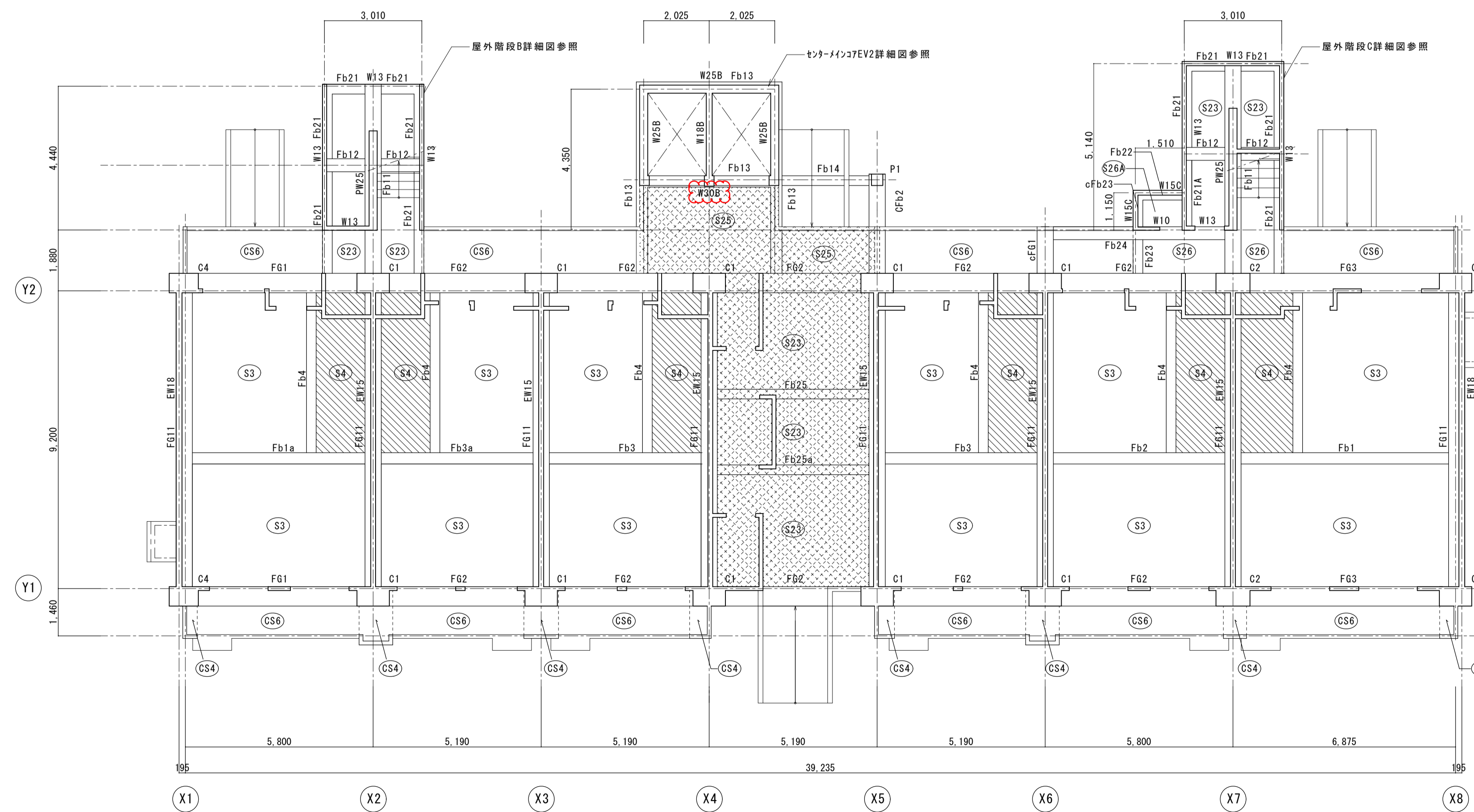
1. 杭種 SC杭、PHC杭、JP-NPH杭  
 2. 工法 Hyper-MEGA工法 (先驅係数α=330 大臣認定工法)  
 3. 使用材料 SC杭: SKK490 105N  
 PHC杭: A種 123N, B種 105N, C種 105N 123N  
 JP-NPH杭: A種 123N, B種 105N, C種 105N 123N  
 定着筋: WSD490、SD390 杭に溶接  
 中詰めコンクリート: Fc=27

名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	伏図(1)	製図	令和2年 月
縮尺	1/100	図面番号	No. 204 (000枚中P4)
大阪府都市整備局	住宅部建設課 (建設設計グループ)	設計者	株式会社上坂設計



註) 特記なき限り下記による  
 ・は、床版レベルZ2-300の範囲を示す。

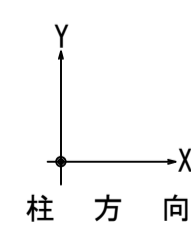
2階伏図 1/100



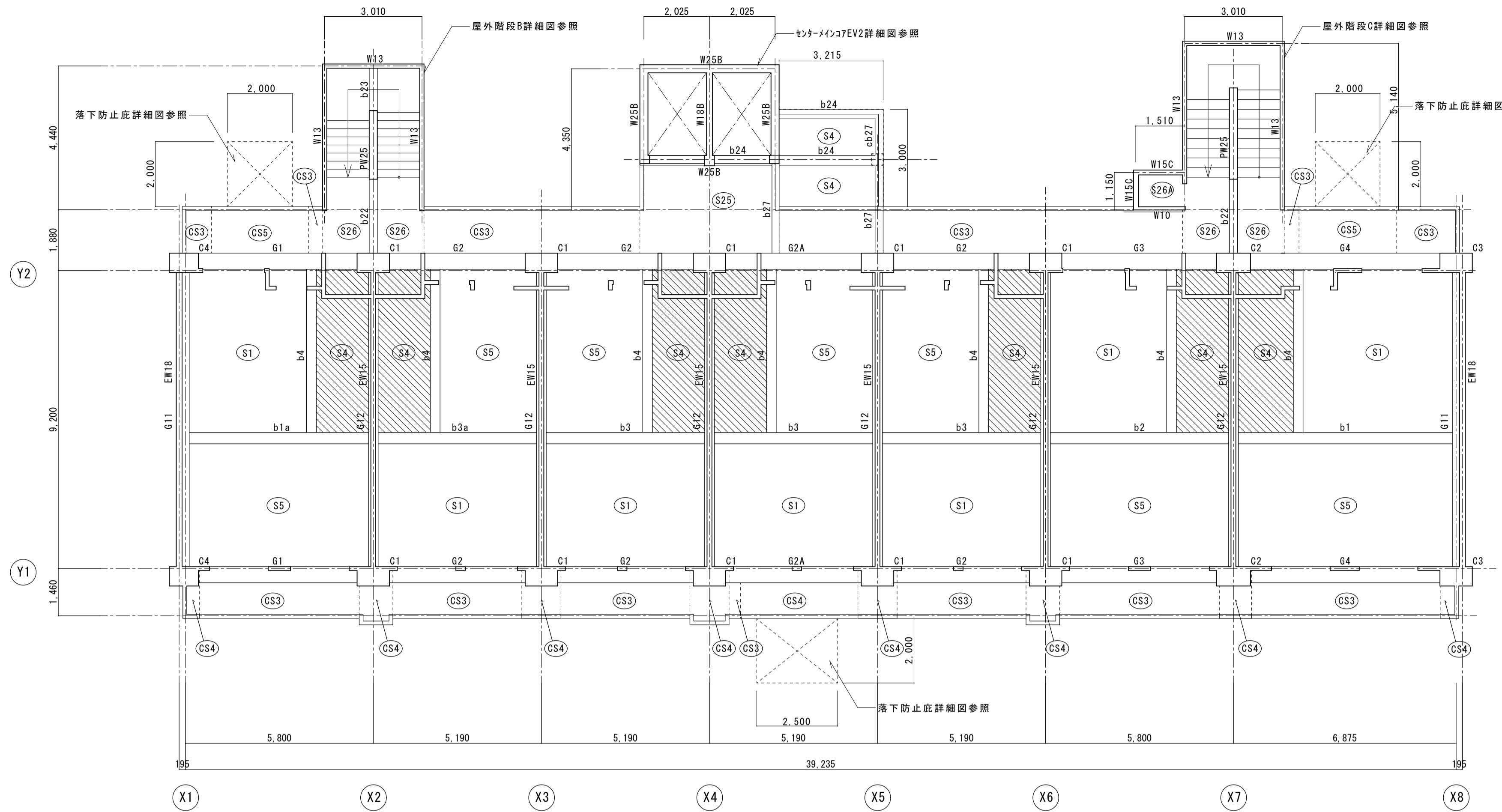
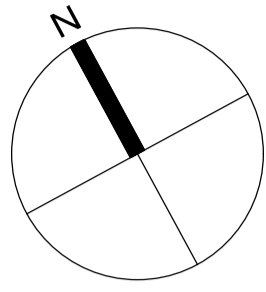
註) 特記なき限り下記による  
 ・は、床版レベルZ1-175の範囲を示す。  
 ・は、床版レベルZ1-20の範囲を示す。  
 ・破線の壁は床下ピット壁を示す。

1階伏図 1/100

伏図共通事項  
 註) 特記なき限り下記による  
 ・廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。  
 ・大梁レベルは軸線図参照。  
 ・床版レベルはZn±0とする。  
 ・小梁レベルは床版レベルと同一とする。  
 ・は増打を示す。  
 ・床増打の範囲は意匠図参照。  
 ・構造スリットは軸線図による。  
 ・各階設備スリーブ位置は意匠図参照。

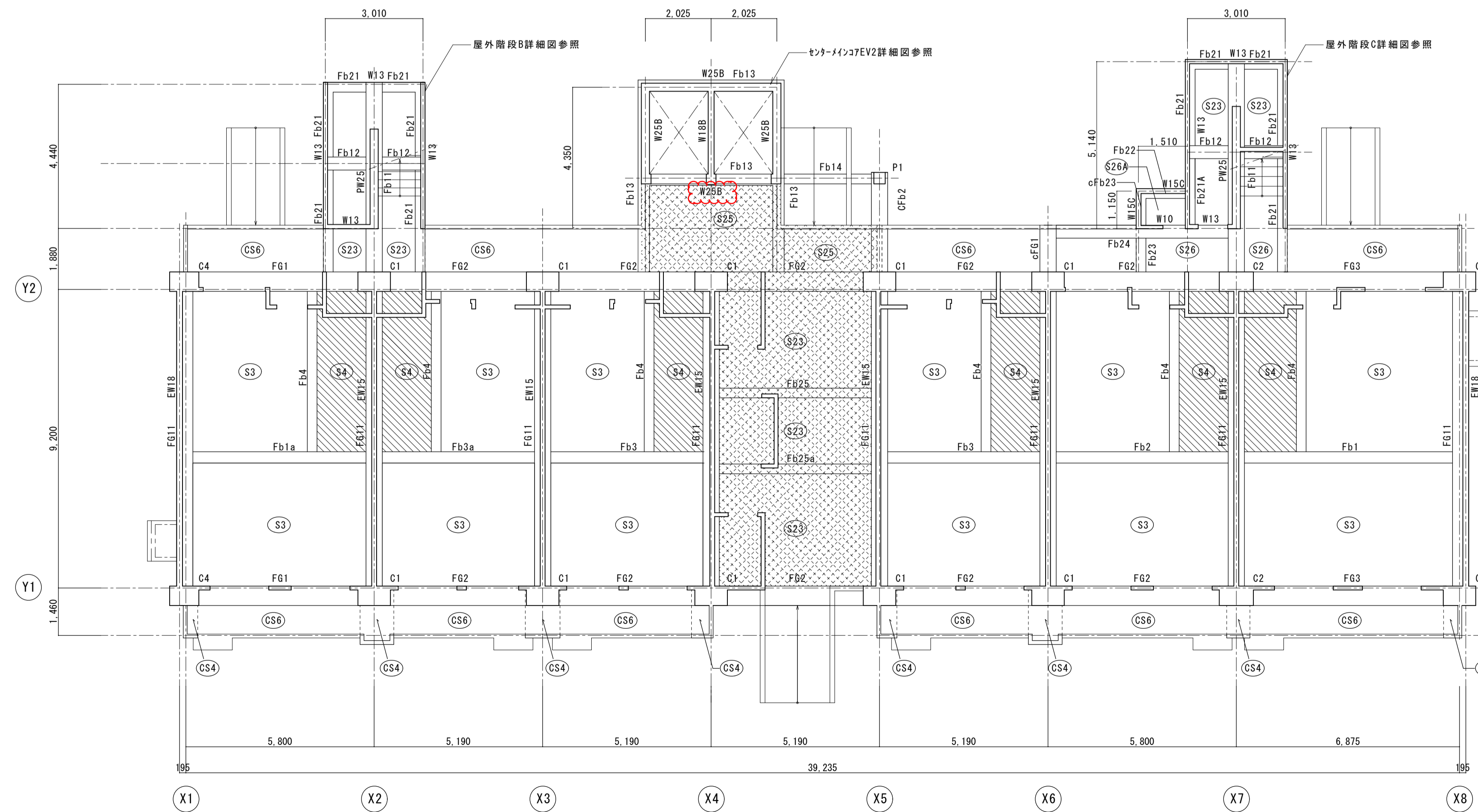


名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	伏図(2)	製図	令和2年 月
縮尺	1/100	図面番号	No. 205 (000枚/9F)
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社上坂設計	



註) 特記なき限り下記による  
 ・は、床版レベルZ2-300の範囲を示す。

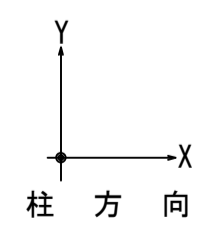
2階伏図 1/100



註) 特記なき限り下記による  
 ・は、床版レベルZ1-175の範囲を示す。  
 ・は、床版レベルZ1-20の範囲を示す。  
 ・破線の壁は床下ビット壁を示す。

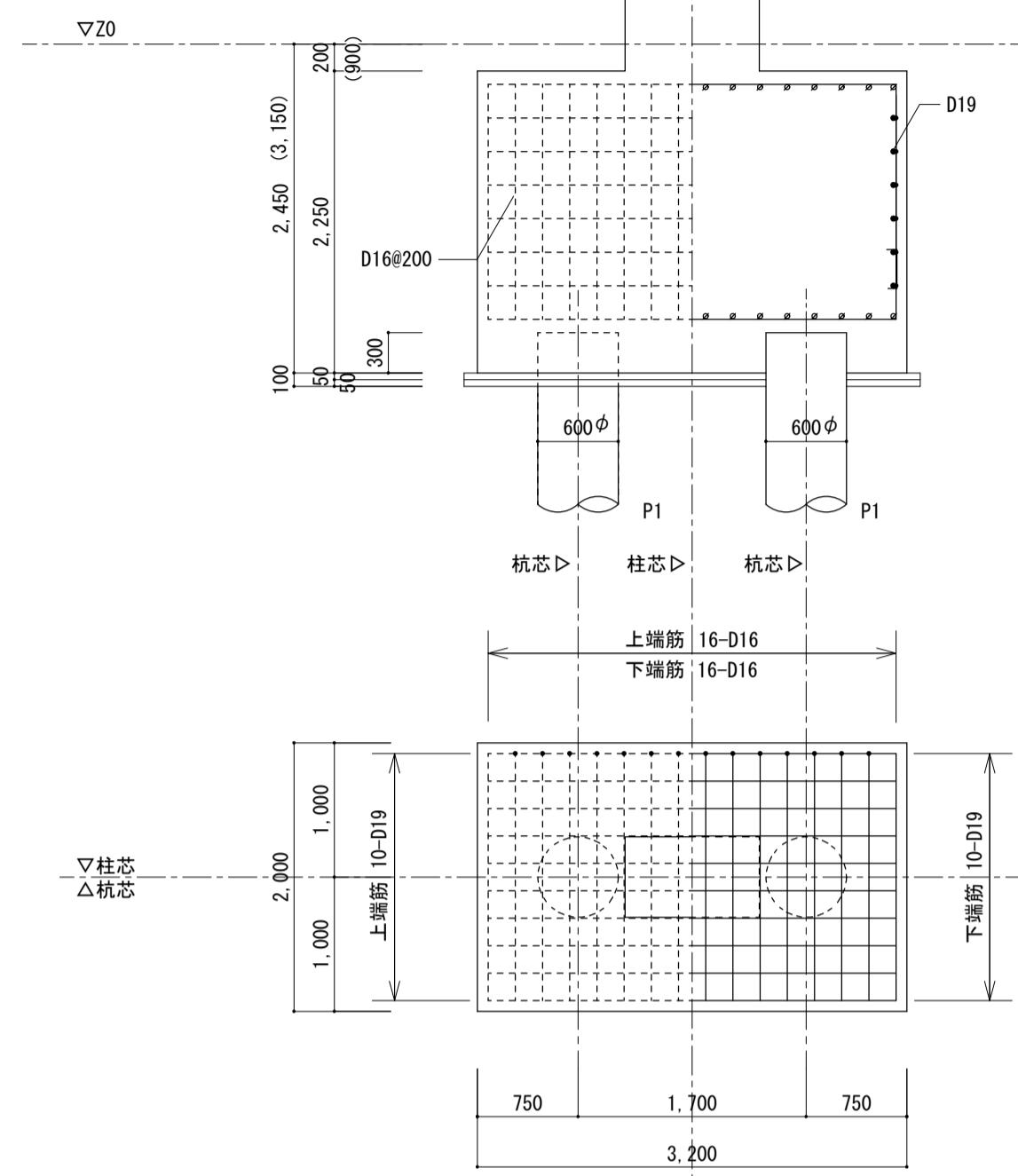
1階伏図 1/100

伏図共通事項  
 註) 特記なき限り下記による  
 ・廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。  
 ・大梁レベルは軸線図参照。  
 ・床版レベルはZn±0とする。  
 ・小梁レベルは床版レベルと同一とする。  
 ・は増打を示す。  
 ・床増打の範囲は意匠図参照。  
 ・構造スリットは軸線図による。  
 ・各階設備スリーブ位置は意匠図参照。

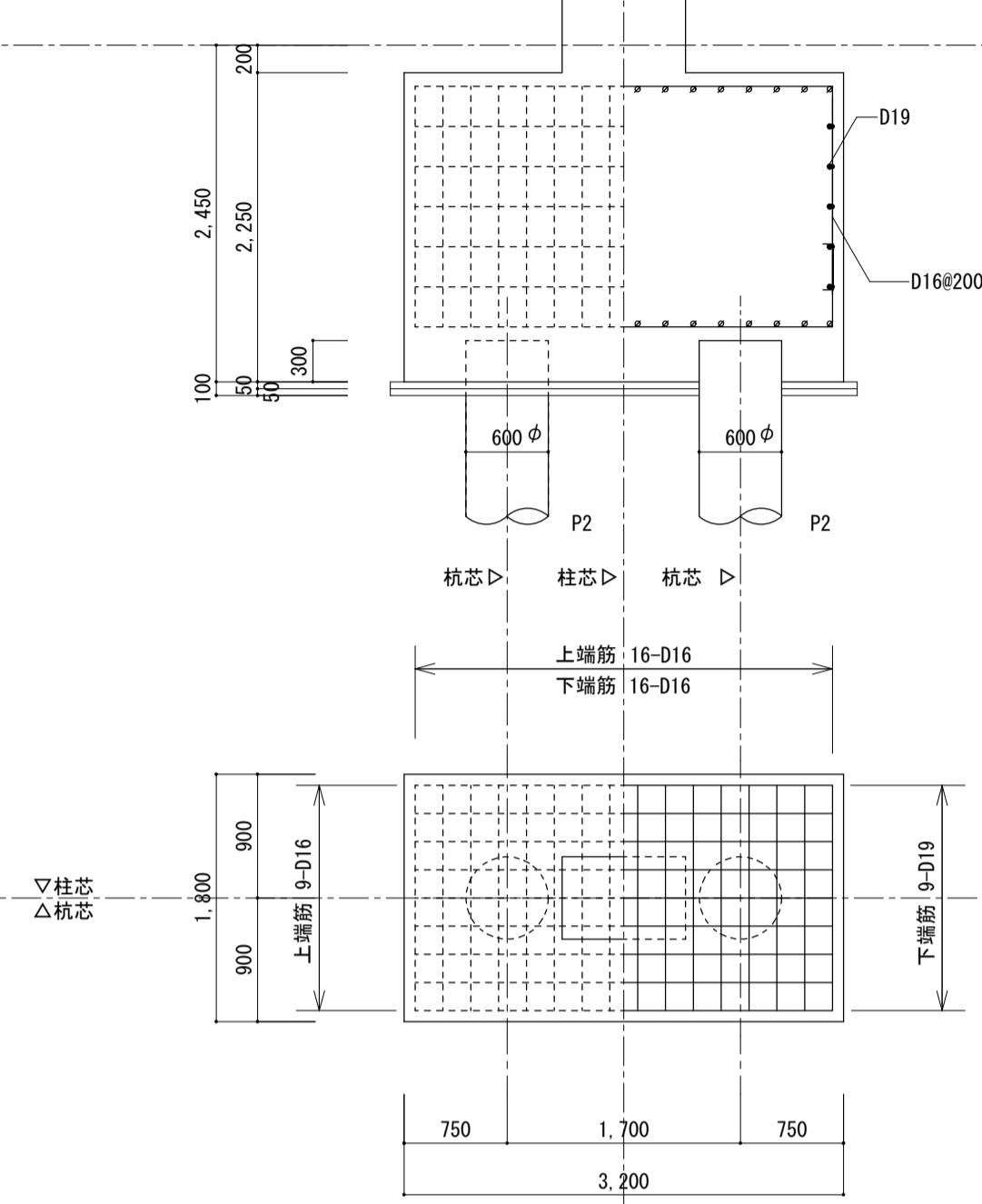


名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	伏図(2)	製図	令和2年 月
縮尺	1/100	図面番号	No. 205 (000枚/9F)
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社上坂設計	

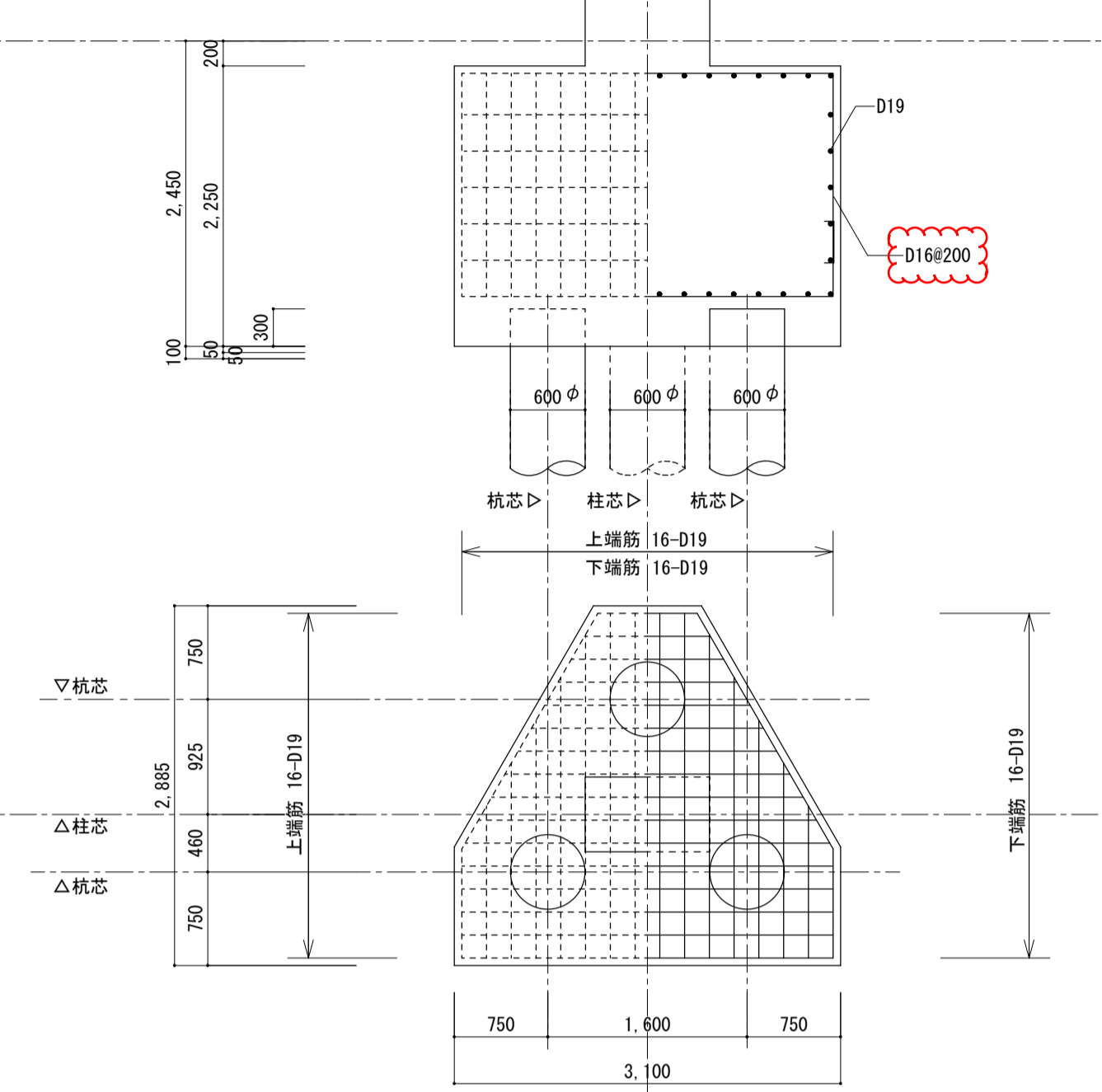
**F1・F1A**  
※ ( ) 寸法はF1Aとする。



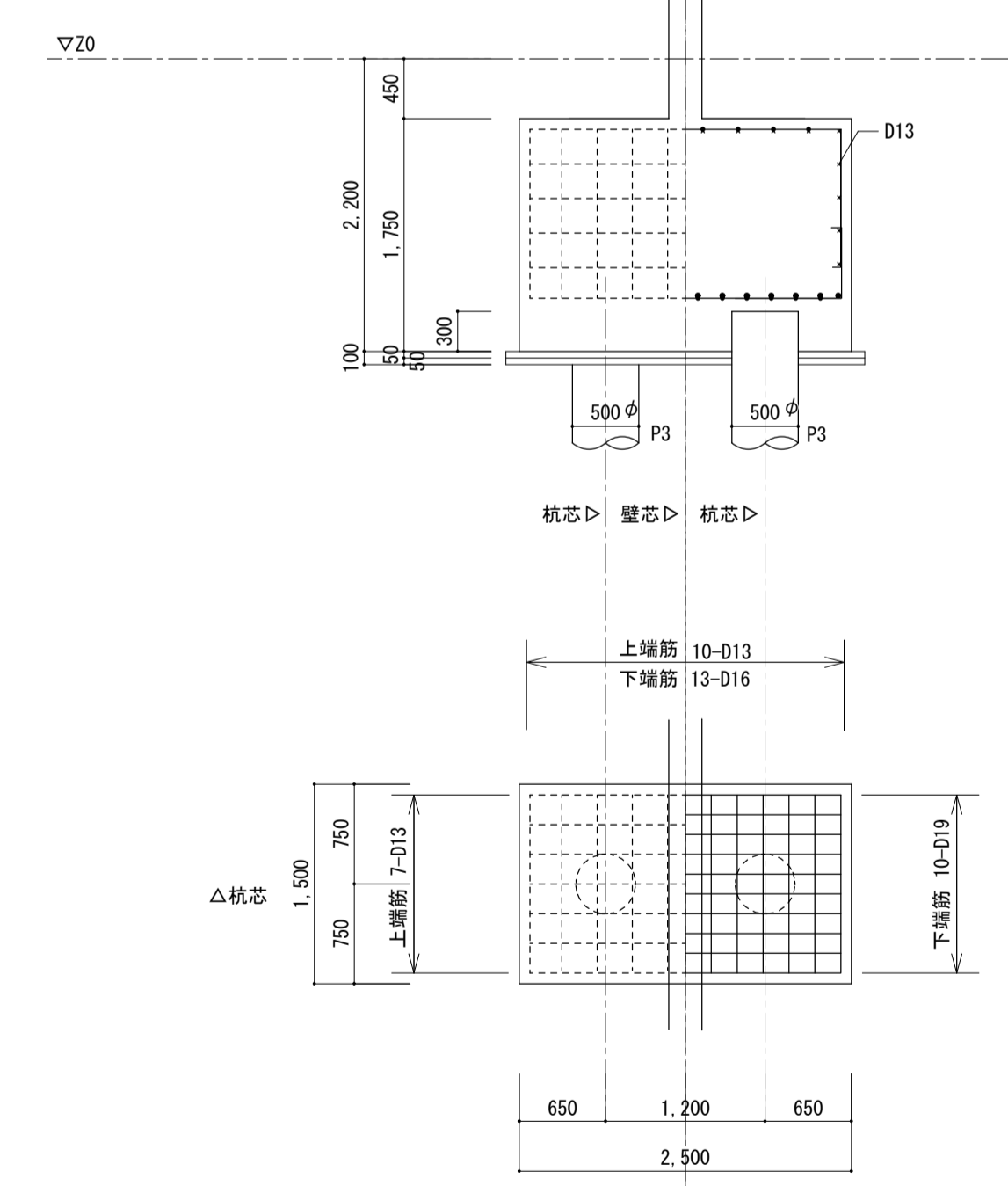
**F2**



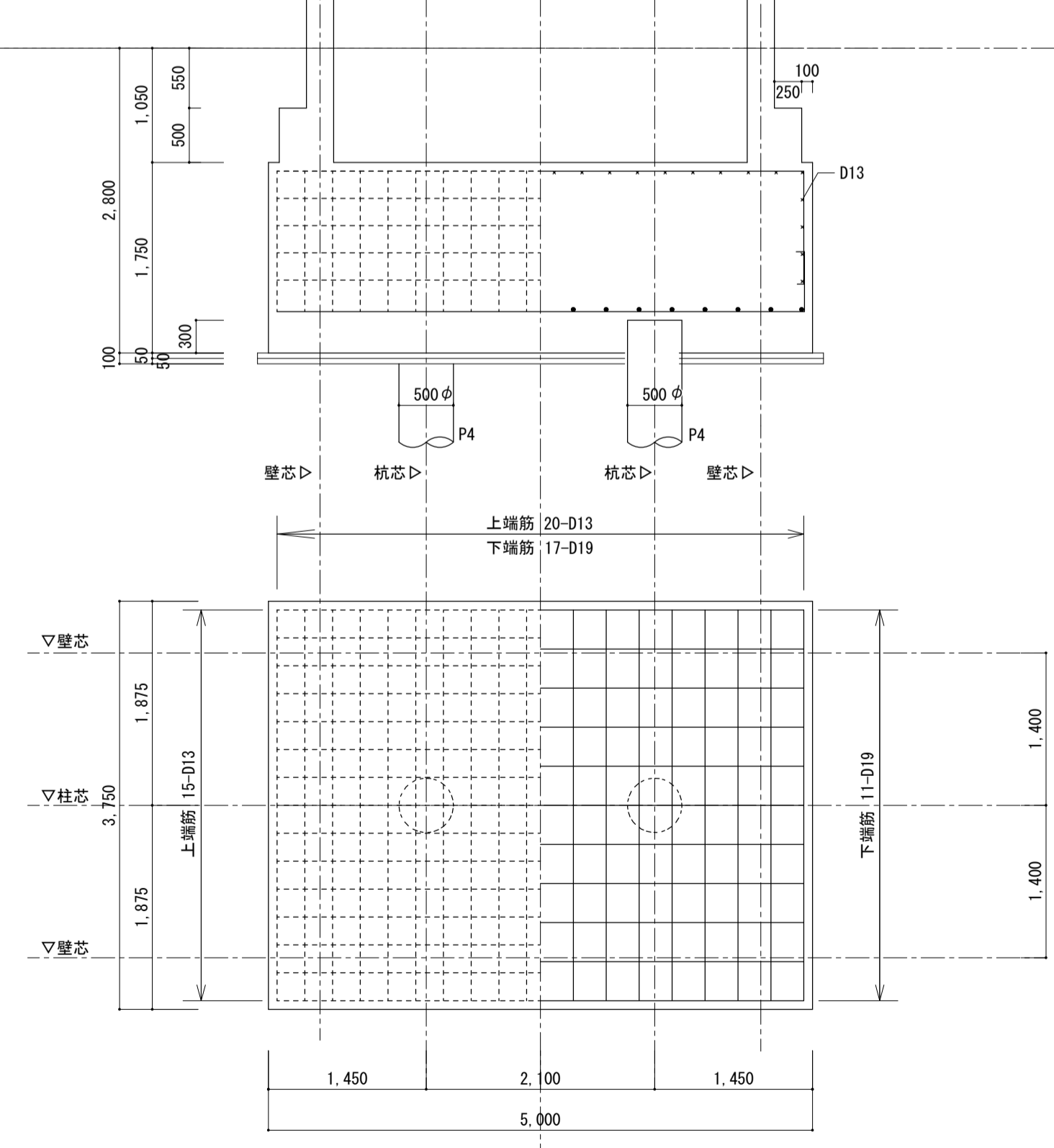
**F3**



**F4**



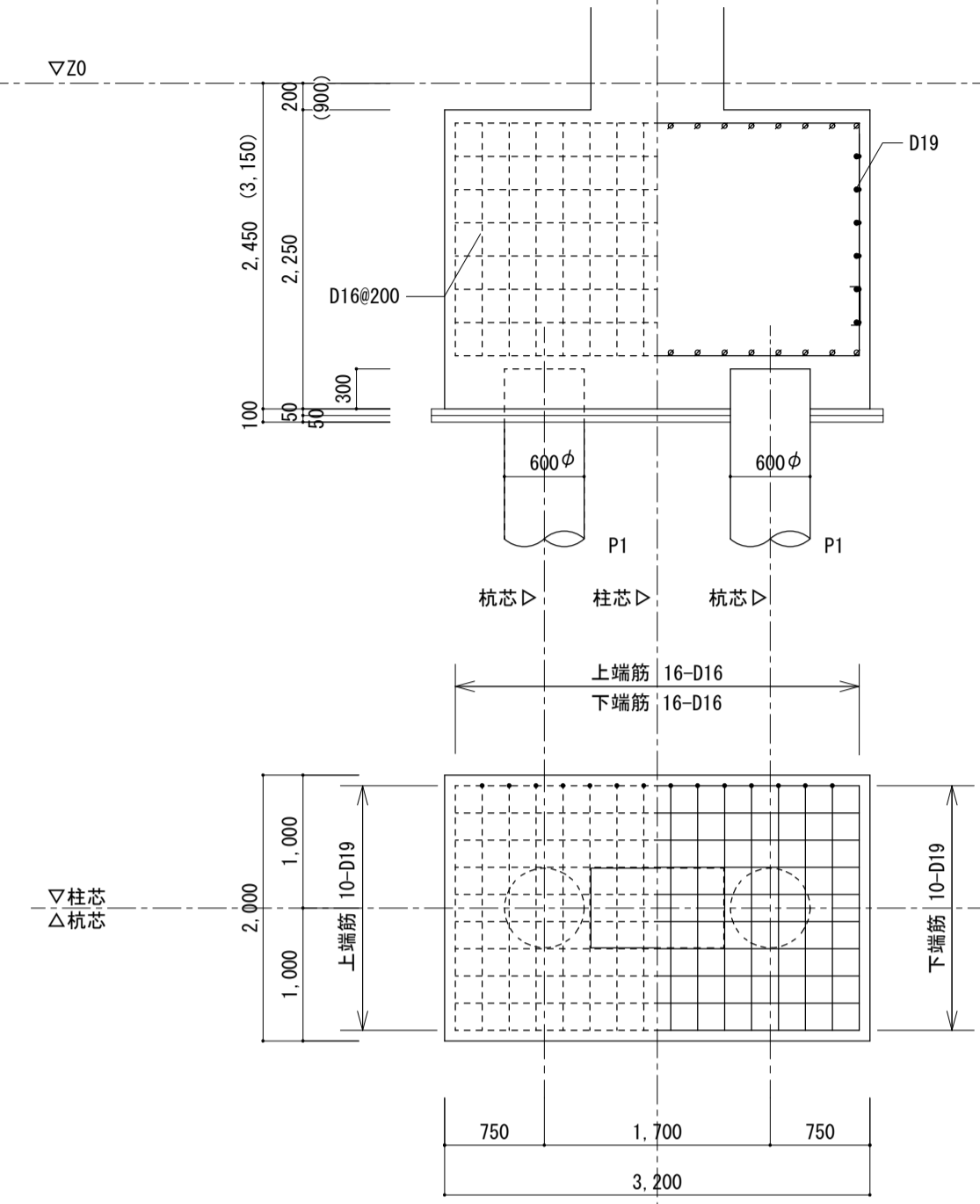
**F5**



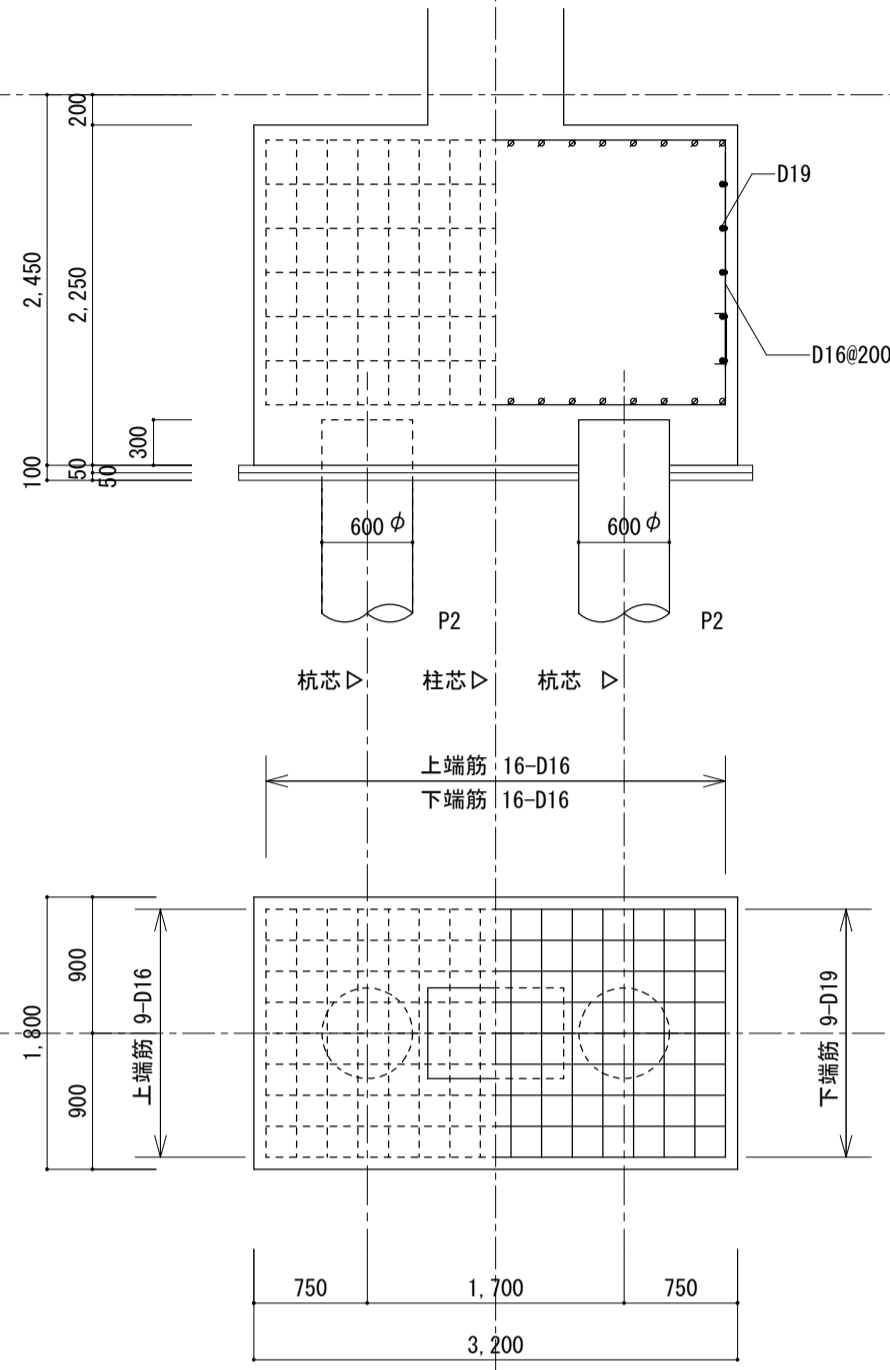
名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	基礎リスト	製図	令和2年 月
縮尺	1/30	図面番号	No. 210 (000枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計者	株式会社上坂設計

基礎リスト

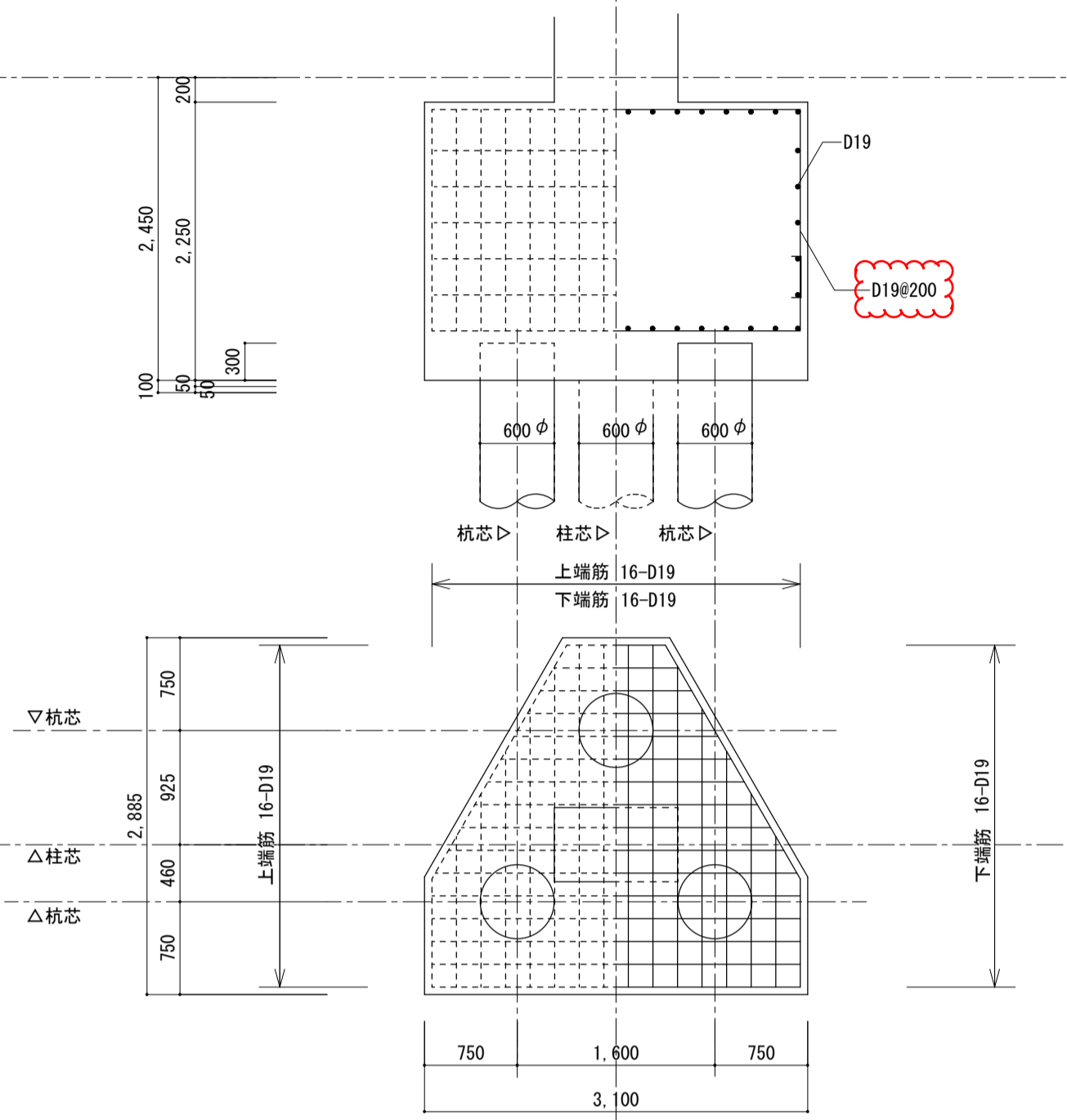
F1・F1A  
※( ) 寸法はF1Aとする。



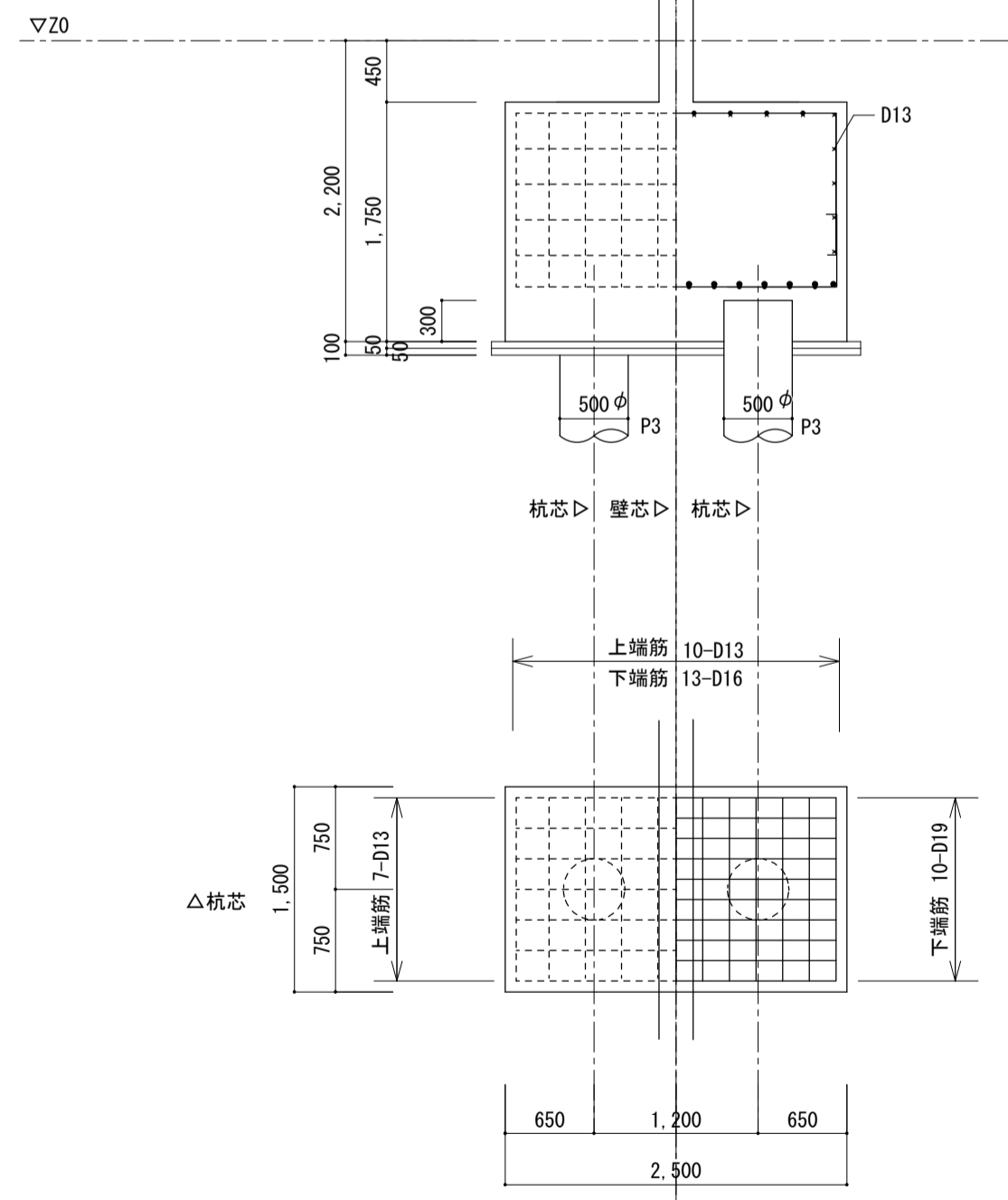
F2



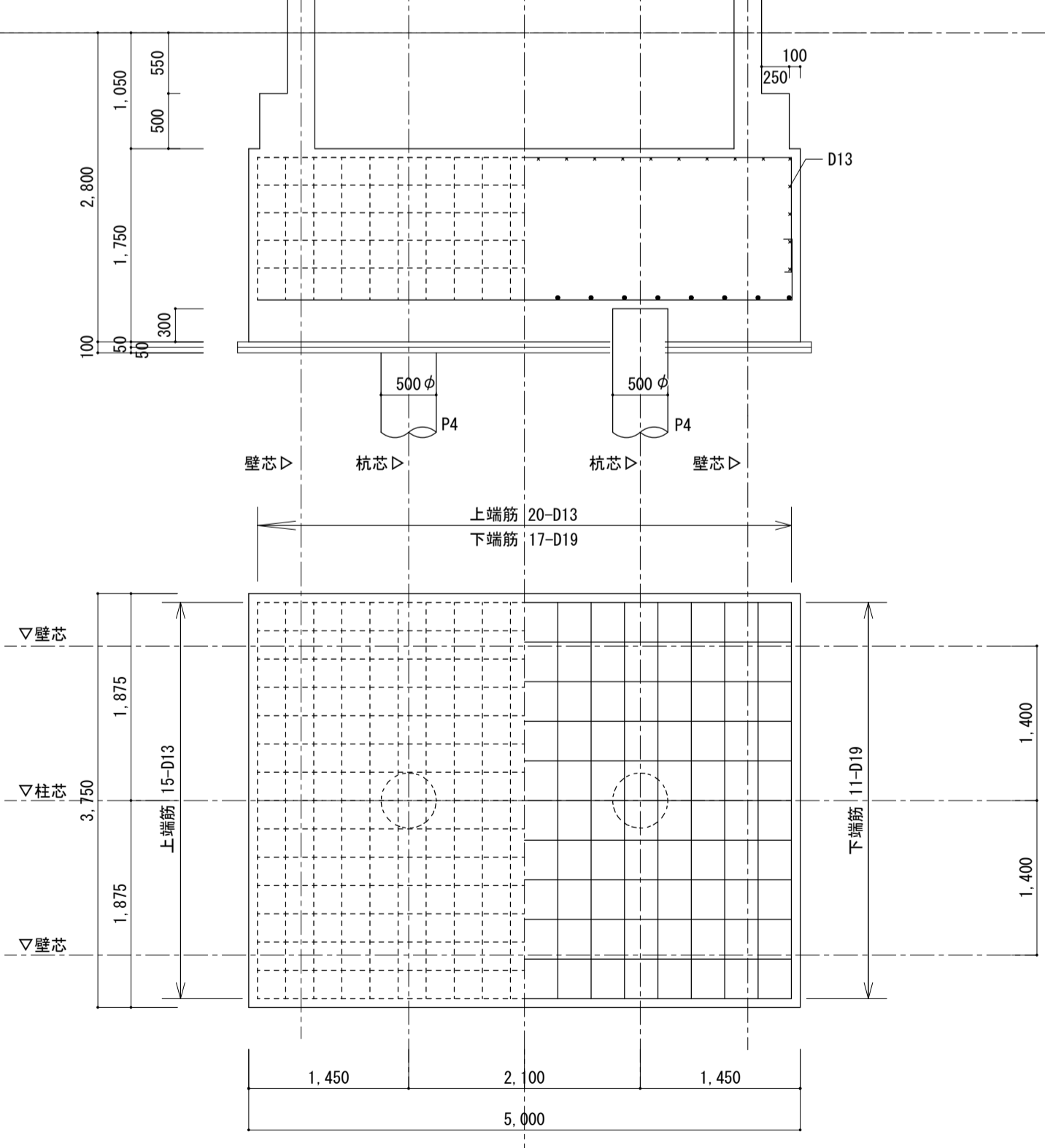
F3



F4

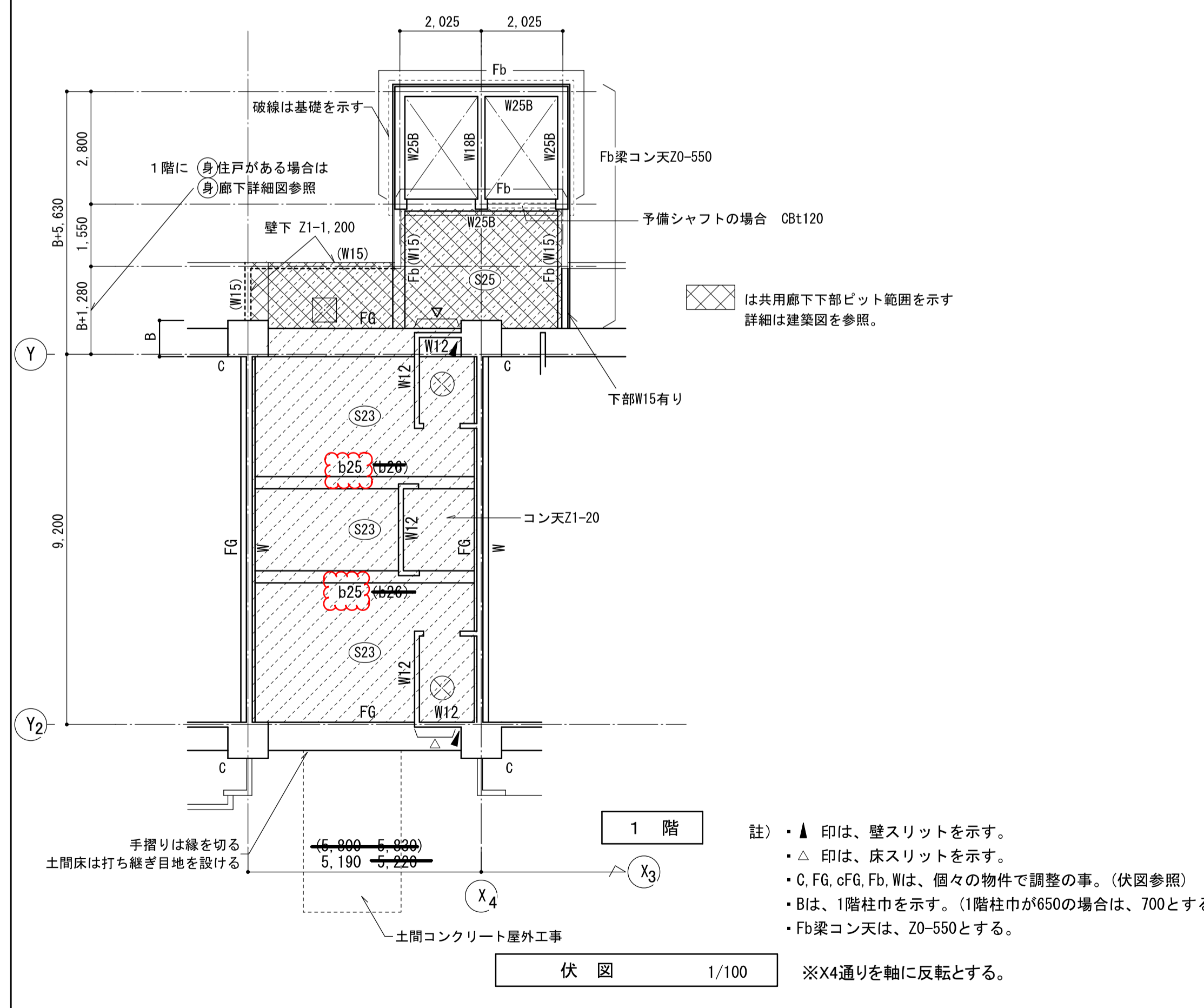
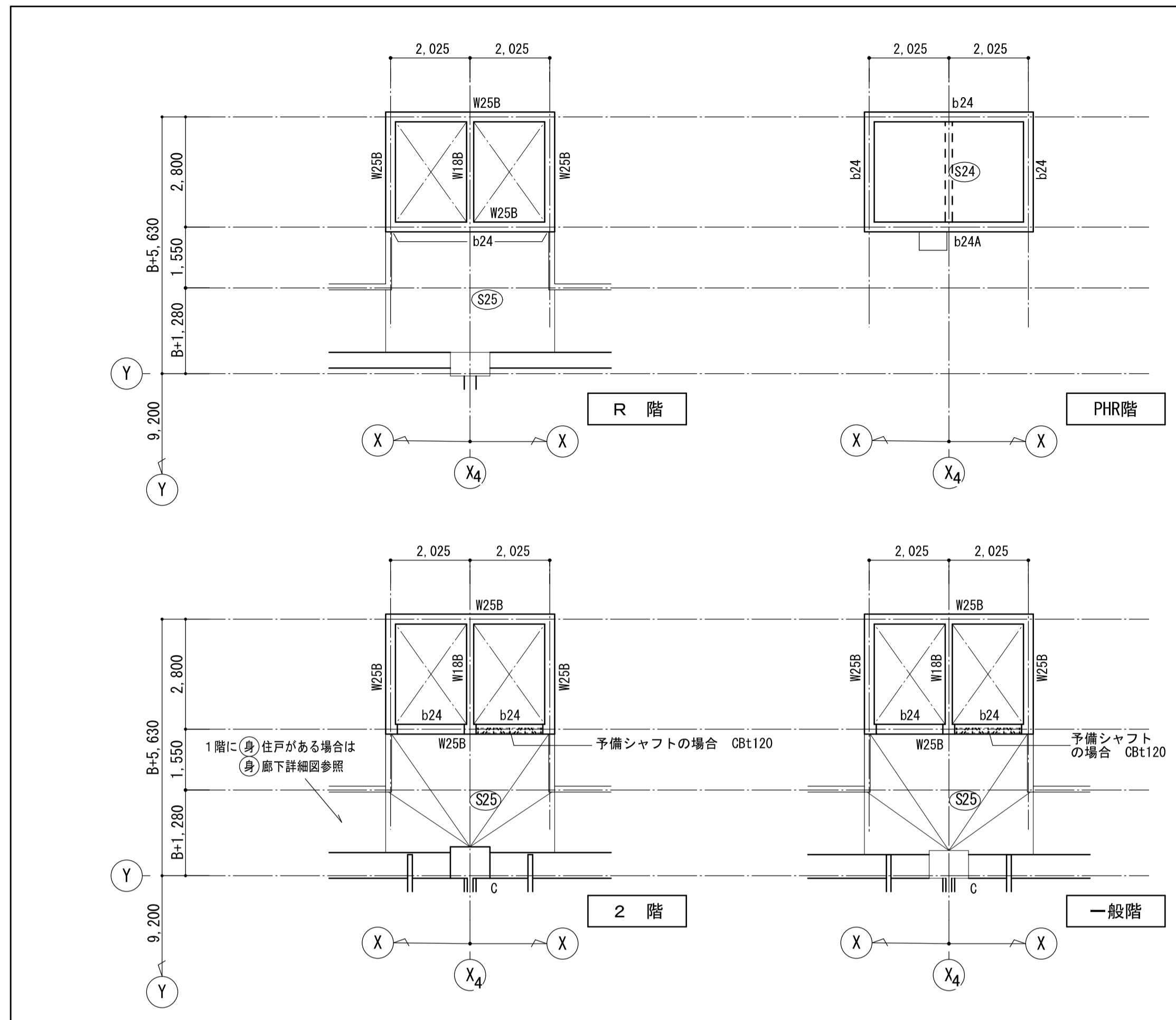


F5



名称	上新庄第1住宅1号館建設工事		
図面名称	基礎リスト	製図	令和2年 月
縮尺	1/30	図面番号	No. 210 (000枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計	株式会社上坂設計

修正前



修正日付	修正内容
2015. 3	予備シャフト追加
2017. 3	文字の大きさを調整、及び 壁リストW18A 見直し

### 梁リスト 1/50

註) 特記なき限り下記による。  
・巾止筋はD10-@1000とする。

符号	b24 (24A)		b25		b26	
	全断面	端部	中央	端部	中央	中央
位置	[Diagram showing beam positions]					
断面	[Diagram showing beam cross-sections]					
上端筋	2-D16	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
下端筋	2-D16	3-D19	4-D19	3-D19	5-D19	5-D19
あばら筋	□ -D10-@150	□ -D10-@200	-	□ -D10-@200	-	-
腹筋	2-D10	-	-	-	-	-
備考	H : 開口寸法に合わせ決定の事、最小寸法は500とする。					

### 壁リスト 1/50

符号	W25B (W18B)	W18A	W15	W12
厚	250 (180)	180	150	120
断面	[Diagram showing wall cross-sections]			
縦筋	D13 - @200	D13 - @200	D10・D13-@150	D10 - @250
横筋	D13 - @100	D13 - @200	D10・D13-@150	D10 - @250
開口補強筋	縦筋 4-D16 横筋 4-D16 斜筋 2-D16	縦筋 2-D16 横筋 2-D16	縦筋 1-D16 横筋 1-D16	縦筋 1-D13 横筋 1-D13
巾止筋	D10-@1,000以下	D10-@1,000以下	-	-

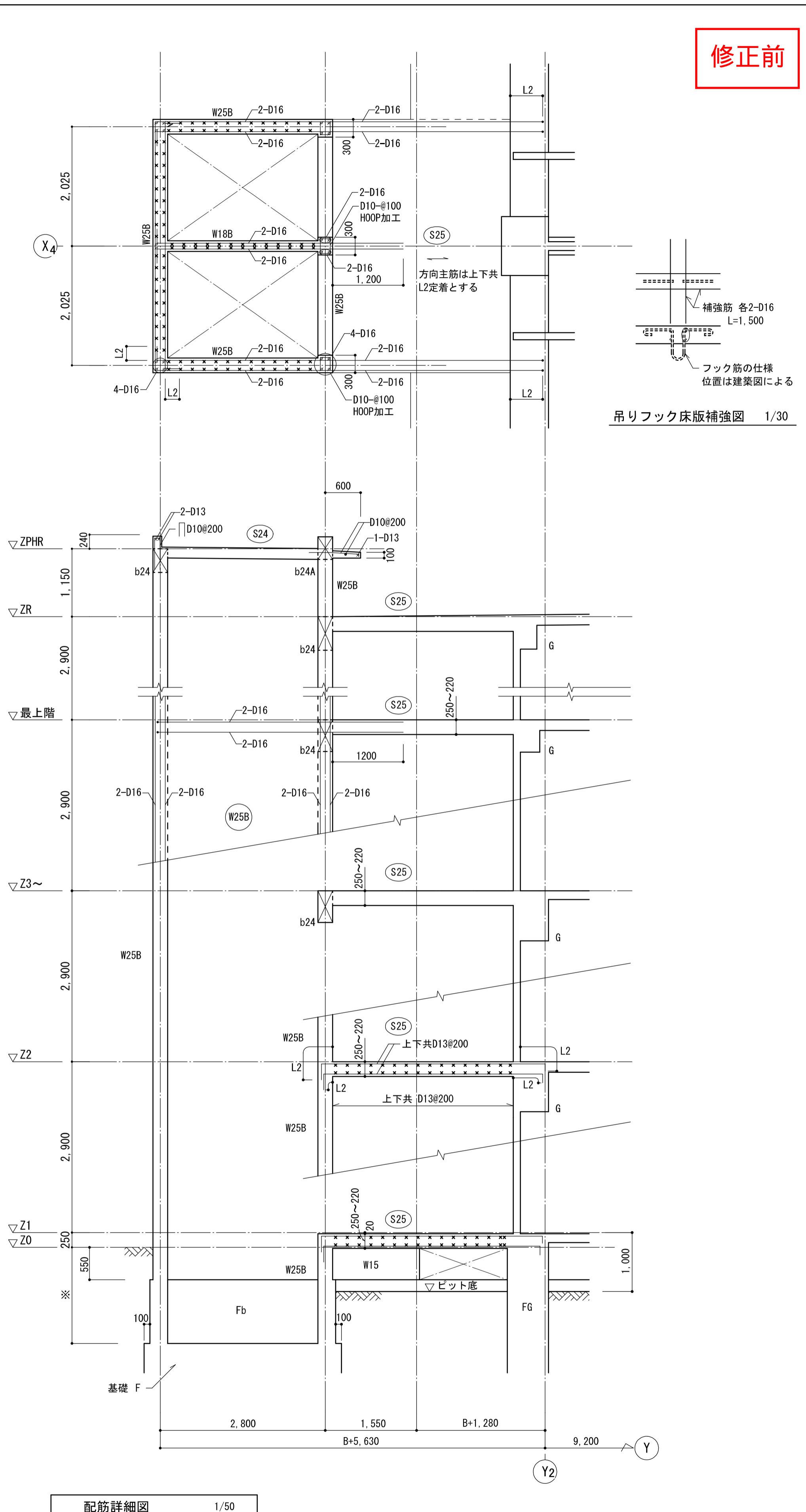
### 床版リスト

符号	厚	位置	短辺方向			長辺方向		
			端部	中央部	周辺部	端部	中央部	周辺部
S23	150	上端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
S24	180	上端筋	D13 - @150	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @150	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
S25	220 ~250	上端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左

### 伏図 1/100

註) ・▲印は、壁スリットを示す。  
・△印は、床スリットを示す。  
・C, FG, cFG, Fb, Wは、個々の物件で調整の事。(伏図参照)  
・Bは、1階柱巾を示す。(1階柱巾が650の場合は、700とする)  
・Fb梁コン天は、Z0-550とする。

※X4通りを軸に反転とする。



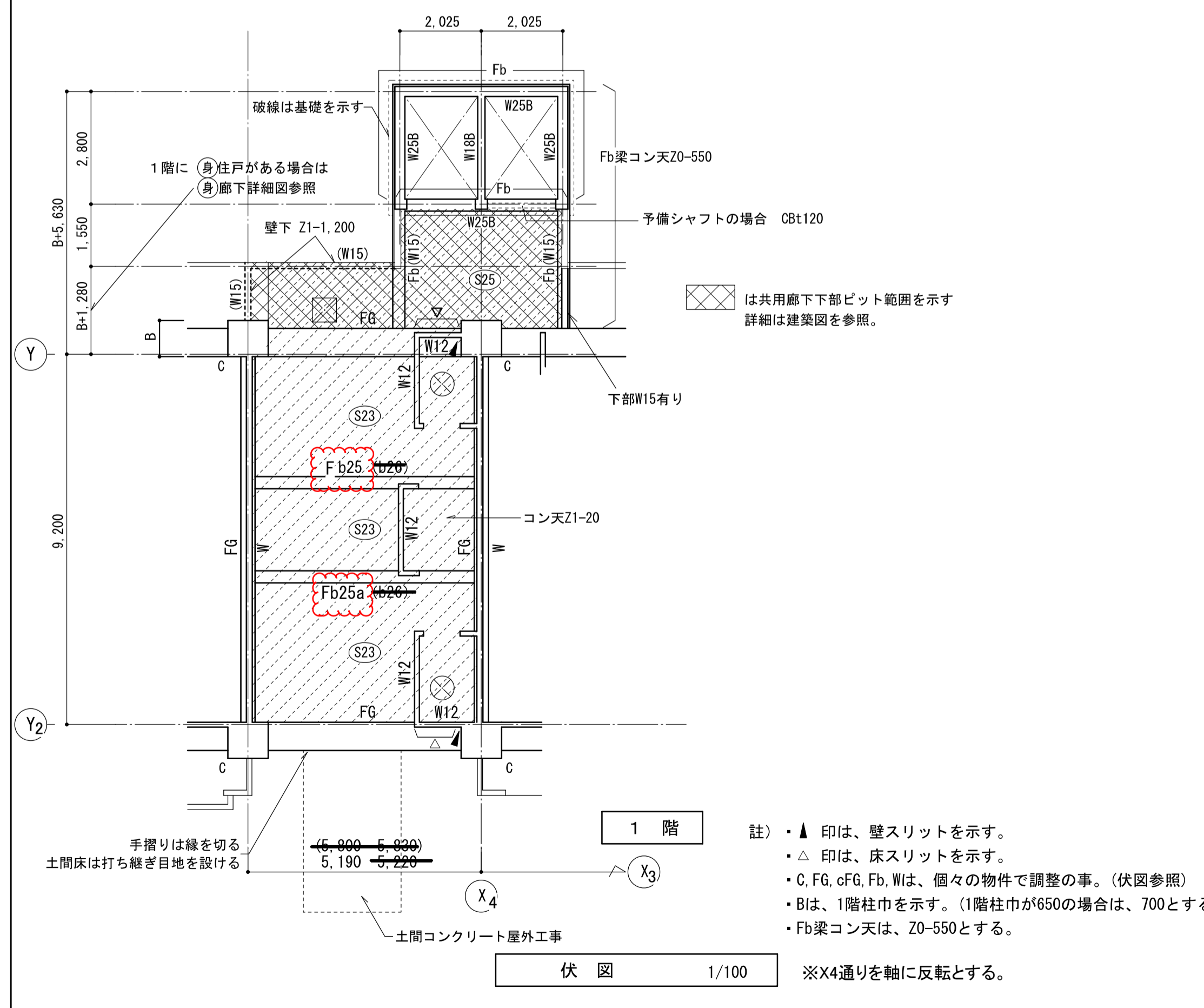
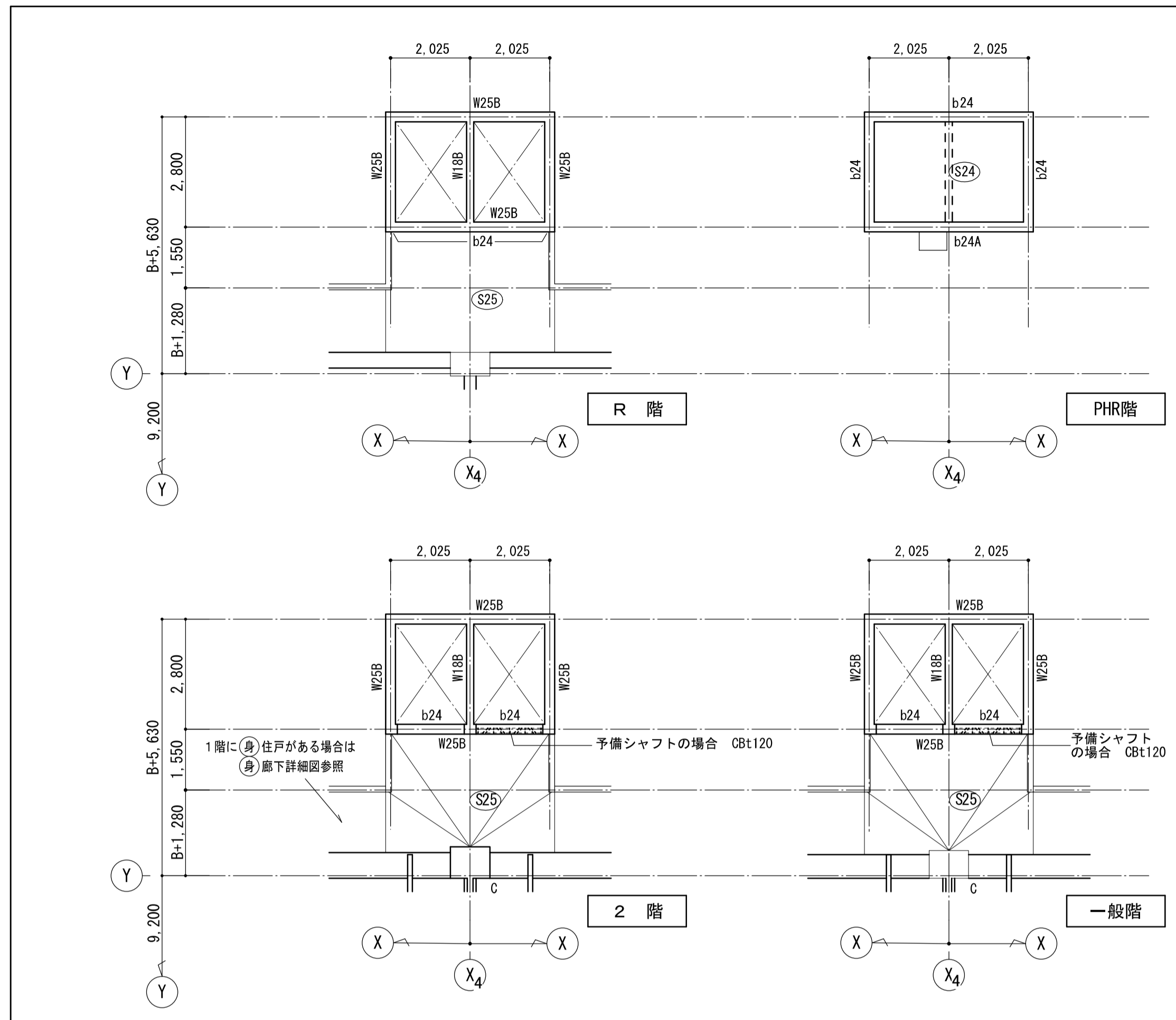
### 配筋詳細図 1/50

註) ・※印寸法, F, cFG, Fbは、個々の物件で調整の事。(伏図参照)

名称	上野庄第1 住宅1号館建設工事	図面名称	センターメインコアE.V2詳細図	製図	令和 2年 1月
標準図番号	H17-H22-H29	構造	312	図面番号	No. 218 (000枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)				株式会社 上坂設計	



修正後



修正日付	修正内容
2015. 3	予備シャフト追加
2017. 3	文字の大きさを調整、及び 壁リストW18A 見直し

### 梁リスト

1/50 註) 特記なき限り下記による。  
・巾止筋はD10-@1000とする。

符号	b24 (24A)	b25	b26
位置	全断面	端部 中央	端部 中央
断面			
上端筋	2-D16	3-D19	3-D19
下端筋	2-D16	3-D19	3-D19
あばら筋	□ -D10-@150	□ -D10-@200	□ -D10-@200
腹筋	2-D10	-	-
備考	H: 開口寸法に合わせ決定の事、最小寸法は500とする。		

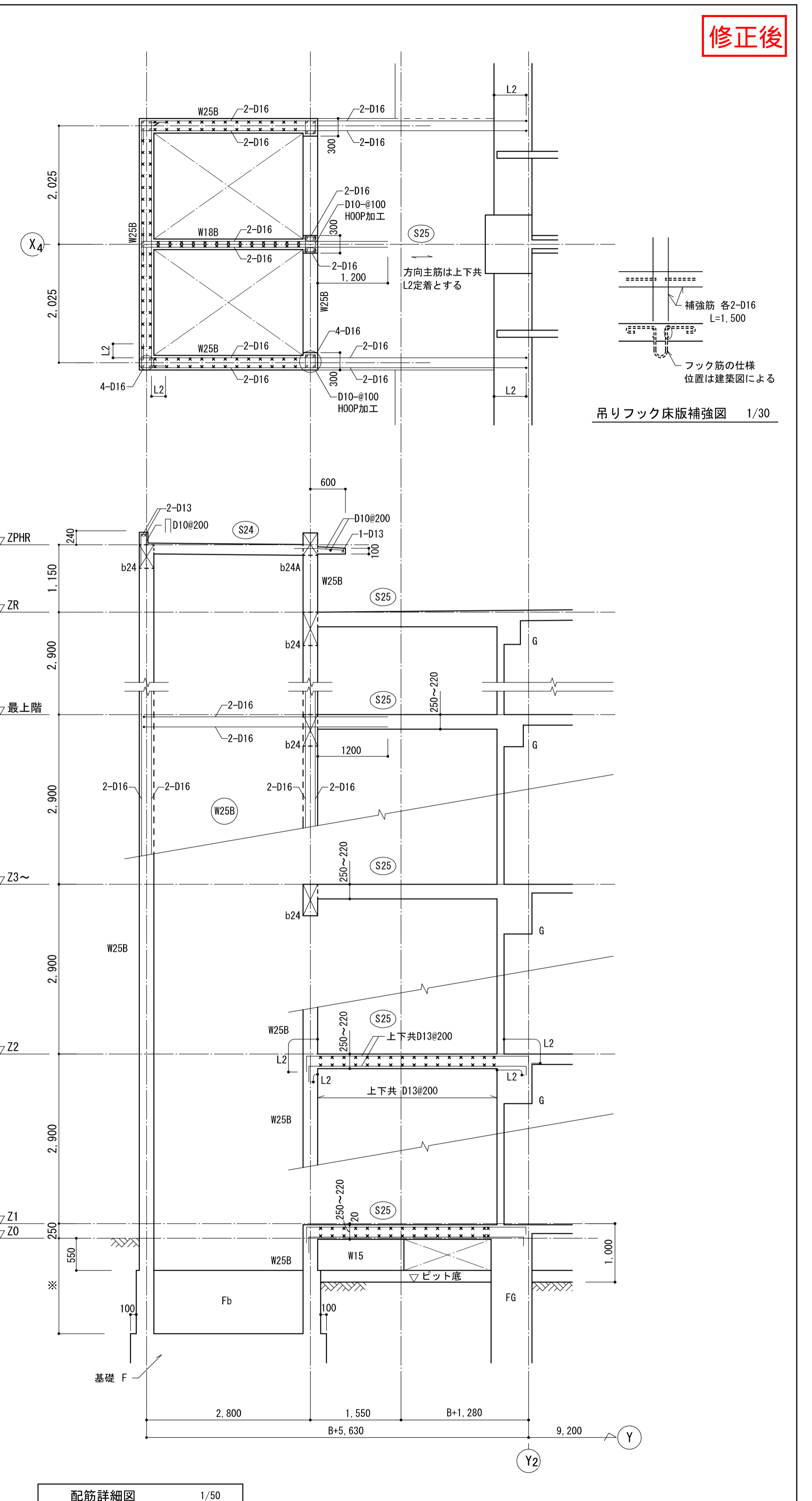
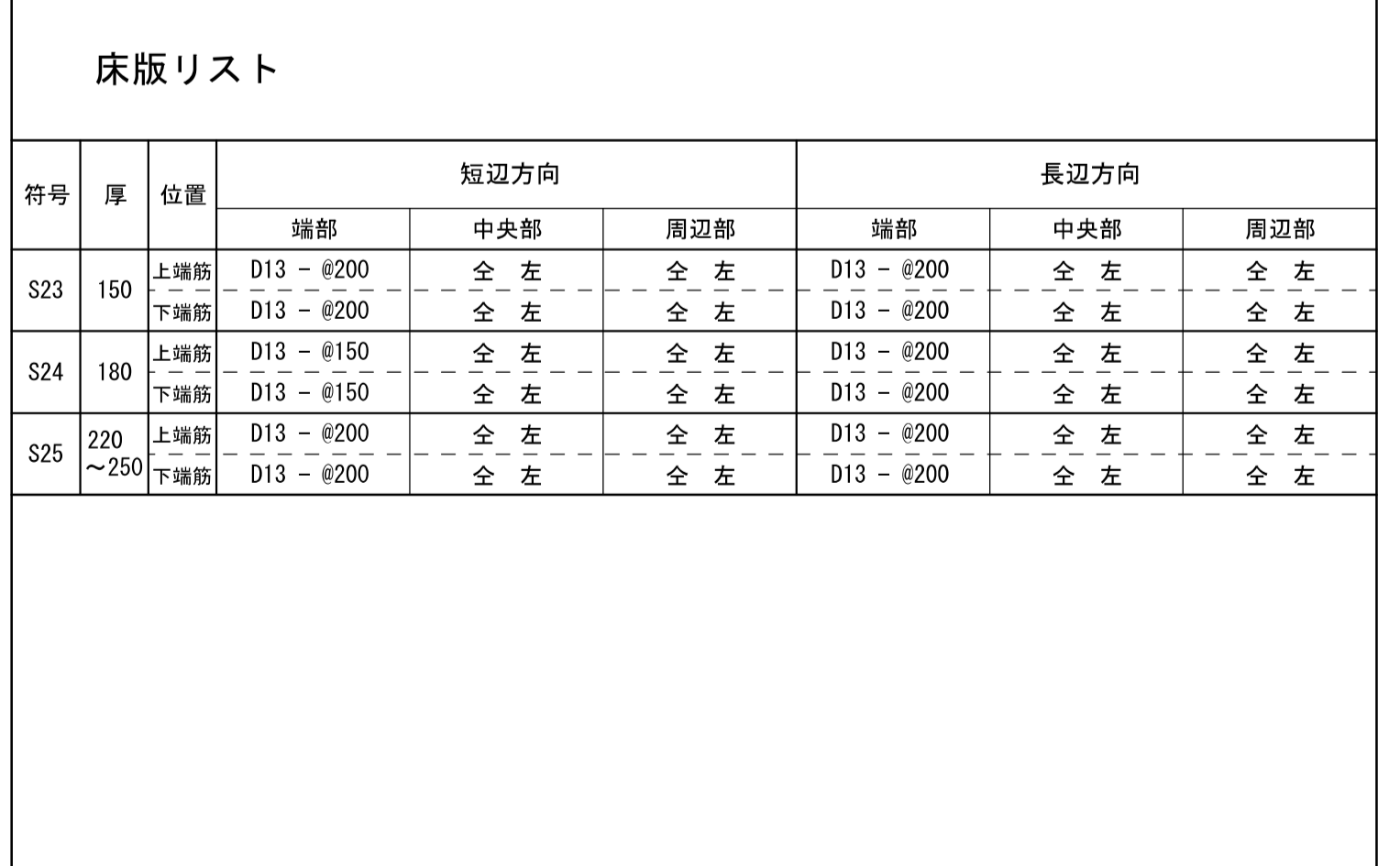
### 壁リスト

1/50

符号	W25B (W18B)	W18A	W15	W12
厚	250 (180)	180	150	120
断面				
縦筋	D13 - @200	D13 - @200	D10 - D13-@150	D10 - @250
横筋	D13 - @100	D13 - @200	D10 - D13-@150	D10 - @250
開口補強筋	縦筋 4-D16 横筋 4-D16 斜筋 2-D16	縦筋 2-D16 横筋 2-D16	縦筋 1-D16 横筋 1-D16 斜筋 1-D13	縦筋 1-D13 横筋 1-D13 斜筋 1-D13
巾止筋	D10-@1,000以下	D10-@1,000以下	-	-

### 床版リスト

符号	厚	位置	短辺方向			長辺方向		
			端部	中央部	周辺部	端部	中央部	周辺部
S23	150	上端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
S24	180	上端筋	D13 - @150	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @150	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
S25	220 ~ 250	上端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左
		下端筋	D13 - @200	全左	全左	D13 - @200	全左	全左



### 配筋詳細図

1/50 註) ・※印寸法、F, cFG, Fbは、個々の物件で調整の事。(伏図参照)

名称	上新庄第1 住宅1号館建設工事	図面名称	センターメインコアE.V2詳細図	製図	令和 2年 1月
標準図番号	H17-H22-H29	構造	312	図面番号	No. 218 (000枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)				株式会社 上坂設計	